

The Towakai  
Medicals

40<sup>TH</sup>  
ANNIVERSARY

医療法人 東和会  
第一東和会病院開院40周年記念誌



法人理念

私たちは「愛」と「和」の  
精神を大切にします。

そして患者さまの人権を尊重し  
「地域の皆さまに信頼され愛される病院」  
を目指します。

## 基本方針

1. 私たちは患者さまの権利を尊重し、わかりやすい説明と十分な情報を提供することによって信頼関係を築き、患者さまと協力して治療を行います。
2. 地域医療支援病院として、かかりつけ医との連携を深め・地域医療従事者への研修・医療機器の共同利用を積極的に推進し、地域医療に貢献します。
3. 地域の皆さまが「安全で安心して暮らせる」よう医療・介護・福祉を総合的に活用し支援します。
4. 救急医療を更に充実・強化し、地域の皆さまが24時間安心して医療が受けられる体制を整えます。
5. 職員は常に研鑽を怠らず、お互いに信頼・尊敬しあい、やりがいのある魅力的な病院を目指します。

# 総合案内

地域に密着した病院として、  
より高いレベルの診察を



## 患者さまの権利

1. 安全で適切な医療・介護を平等に受けることができます。
2. 病状や治療について事実を知り、納得ができるまで十分な説明を受け、意見を述べるすることができます。
3. 他の病院の医師に意見(セカンドオピニオン)を聞くことができます。
4. 十分理解したうえで、検査・治療などを選択、同意、拒否することができます。
5. 医療施設などを選択し変更することができます。
6. 当院で受けた診療に関する情報開示を求めることができます。
7. 個人情報や医療に関する情報は保護されます。



## 目 次

1. 法人理念／基本方針
5. ごあいさつ  
医療法人東和会グループ 会長 飯田 稔  
第一東和会病院 理事長 大西 恭子  
第一東和会病院 院長 田中 源重  
第二東和会病院 院長 山崎 元  
第二東和会病院 名誉院長 榑原 茂樹  
第一東和会病院 診療技術部 部長 清川 雅央
13. お祝いの言葉  
参議院議員 山東 昭子  
衆議院議員 橋本 岳  
高槻市長 濱田 剛史  
大阪府医師会 理事 茂松 茂人  
高槻市医師会 会長 保田 浩  
大阪医科薬科大学 理事長 植木 實  
大阪医科薬科大学 学長 佐野 浩一
20. 第一東和会病院について  
東和会グループのあゆみ  
使命・ビジョン  
施設基準
36. 診療科の紹介  
内視鏡外科センター／内視鏡センター  
ウロギネコロジーセンター・女性泌尿器科  
脳卒中センター・脳神経外科・脊髄脊椎センター  
整形外科・膝スポーツ関節鏡センター／麻酔科・ペインクリニック  
循環器内科／糖尿病内科／小児科／婦人科／泌尿器科／放射線科／精神科  
眼科／耳鼻咽喉科／皮膚科／歯科口腔外科
46. 各部署の紹介  
看護部／薬剤部／診療技術部  
リハビリテーション部／健診センター  
事務部／医師事務支援室／診療情報管理室／CS 推進部・CS 室  
施設概要
56. 各委員会の紹介  
医療安全対策委員会／感染対策委員会／NST 委員会  
会議・委員会組織図
60. 病院統計
68. 東和会グループの紹介  
第二東和会病院  
東和会いばらき病院  
東和会クリニック  
介護老人保健施設 サンガピア館  
総合介護福祉施設 和朗園・佑和  
在宅複合型老人介護施設 天兆園  
介護付有料老人ホーム みやの楽々園  
住宅型有料老人ホーム レジデンス TOWA  
訪問看護（東和会・アイ・島本）・訪問リハビリ  
ケアプランセンター・訪問介護東和会ハート  
愛光認定こども園・和光認定こども園
81. 終わりに



## 医療法人東和会 創立40周年を迎えて

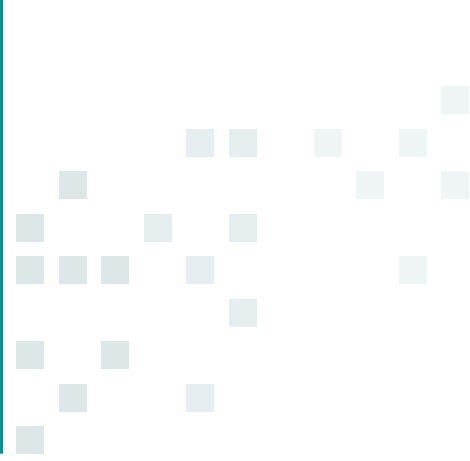


私が医者になった昭和44年の頃、日本は戦後、国をあげての復興を推奨しておりました。人口の急増は全国的であり、医療機関の整備は喫緊の課題でもありました。

なかでも24時間救急に対応出来る医療施設が求められている時、昭和57年 現在の地に65床の救急病院を開設しました。国道171号線に面し、24時間明るい病院で救急の需要も多く、たちまち病床が不足し、昭和61年に140床に増床いたしました。時を同じくして少子高齢化社

会が幕開けとなり70歳以上の医療費無料化も相俟って医療費の増加が顕著となり、昭和60年第一次医療法の改正が行われ病床規則が始まり、今に及んでおります。

平成2年縁あって市の南部を流れる淀川を背に休院していた103床の病院を購入する機会を得、新築開院いたしました。その後、医療法人の認可を得て、医療法人東和会第一東和会病院、第二東和会病院と改名し2病院を運営することになりました。



医療法人 東和会グループ

会長 飯田 稔

その頃から医療の量的整備は完成したとして質的整備が推進される様になり医療機関の機能分化が明確にされ大学病院のような特定機能病院、当院の如く主に急性期を担う一般病院、そして療養型病院などと大別されました。更に激増するご高齢者のQOLを高める目的で平成12年に介護保険制度が開始されたのはご承知の事だと思えます。

溢れる入院患者さまを1日でも早く自宅復帰して頂くための生活訓練を目的として介護老人保健施設の設立が進められたのを機に平成9年、第二東和会病院に併設型の介護老人保健施設サンガピア館(100床)を開設いたしました。更に進行する少子高齢化社会で医療・介護・福祉は国の存亡に関わる大問題となってきましたが、当院のような個人病院が今後も存続するためには、特色を持つことが大切だと思い当時話題となっていました“切らない手術”を始めるため、内視鏡外科センターを開設し、内視鏡外科手術を開始いたしました。今までの開腹手術に比べ、手術侵襲が格段に小さく、術後の回復は早く、虫垂炎手術は1泊で、胆石の手術も3泊4日で退院出来るなど、その効果は想像をはるかに越え、患者さま自身から高く評価していただくことが多く、瞬間に評判を得て北摂地域のみならず、広範囲から患者さまが来て頂き、平成25年には5000例を、平成31年のセンター開設17年目には1万例を突破し、今尚、増加しております。

気概のある若手医師が加わり、次々に内視鏡技術認定を取得し、現在8名在籍する内視鏡外科医は全員技術認定を取得しているという技術集団となっております。これらの実績に他の分野も競合し、整形外科は年間1173件を数える手術件数をこなし、脳神経外科、泌尿器科、婦人科、眼科も、鋭意努力してくれています。女性の悩み、尿漏れや子宮脱等、女性泌尿器科も絶えることなく手術を行っております。コロナ禍で停滞いたしておりますが、ここ3年でも、年間平均4500例の手術をコンスタントにこなす病院となりました。

また当グループの特色であります、更に勢いを増している高齢化社会に対応すべく、早くから介護福祉の分野にも取り組み、在宅複合型老人介護施設天兆園(茨木市安威)、総合介護福祉施設和朗園(高槻市井尻町)、平成18年には介護認定老人ホームみやの楽々園(高槻市宮野町)、その1階部分は、愛光認定こども園を、そしてその後には和光認定こども園(高槻市上牧町)を開設運営し、さらに企業主導型みらい保育園も新設するなど人間形成がなされる0才～6才の子ども達と接し、将来、我が国のリーダーシップとなる子ども達の育成に情熱を捧げております。

最近では、島本町にJR島本駅が開設されたのを機に、令和3年12月、駅より徒歩2分の位置に有料老人ホームレジデンスTOWA(68床)を新設し、1階部分に当病院勤務医をしていていた医師による「よりふじ胃腸内科・内科クリニック」を併設し、専門分野の消化器内視鏡を積極的に行い、また訪問診療(調剤薬局付)に応じるなど地域になくてはならない施設となってまいりました。

このように私たちは、国が進める医療、介護、福祉そして子ども達の為の施策に順応し、国民にとってなくてはならない急性期医療から療養型医療、そして独居老人やご高齢者だけの世帯の方々も介護、福祉を通じてより健康でより安全に安心して暮らしていただけるよう心から手を差し伸べる組織とし、大阪府北部地域においては唯一無二の組織へと成長致しました。このたび40周年を迎えることが出来ましたのもひとえに皆さまの温かいご指導ご支援の賜物であり、心から感謝いたしております。

これからも理念であります愛と和の精神を大切にし、グループ一丸となって一步一步前進してまいりますので、41年目も私たちのグループに倍旧の、ご指導ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

40周年を迎えて





# 医療法人東和会 創立 40 周年を迎えて

この度医療法人東和会 第一東和会病院が開院 40 周年を迎えました。この記念すべき時を迎えることが出来たのは、本病院の発展のためにご指導、ご支援をいただいた厚生労働省等行政機関、地域の医療機関の皆さまのおかげであり、心より感謝申し上げます。そして開院以来尽力いただいたすべての職員各位に感謝し共に祝いたいと思います。

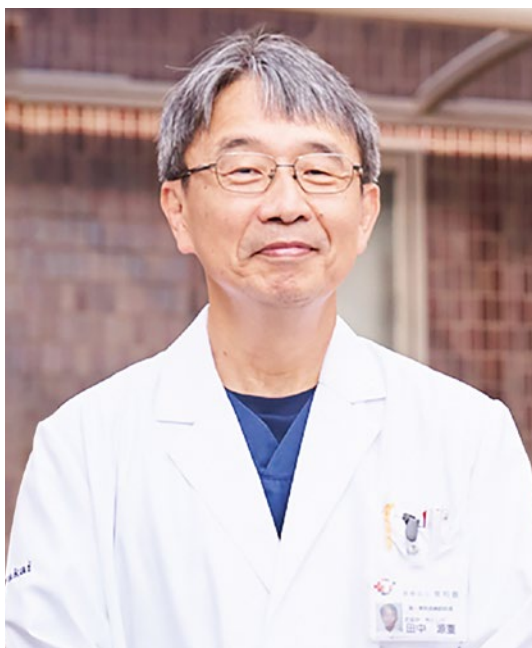
第一東和会病院の前身である東和会病院は、当時の理事長であった現会長飯田稔により 1982 年（昭和 57 年）に開院しました。救急患者を助けたいと若干 39 歳で開業したその勇気と行動力には感服します。本病院はその後機能強化を成し遂げ、高度な医療を提供する地域医療支援病院として地域医療の中核的役割を担っています。2019 年私は理事長に就任しましたが、一年足らずで新型コロナウイルス感染症が始まりました。その対応の中で職員の結束がさらに強まったように思います。そして 2022 年には大阪府がん診療拠点病院となることができました。また、臨床研修指定病院、看護師特定行為研修指定機関の他、実習指定病院として薬学生、看護学校生を受け入れると共に、臨床工学技士、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士養成校の指定病院として、次代を担う優れた医師、特定看護師、その他医療関係者を育成しています。

健診センターで健康長寿社会の構築等に寄与すると同時に、東和会グループでは社会福祉法人 恭生会を設置し、介護・福祉機能を推進してきました。今後も地域の要請に応えるグループであり続けたいと思います。そのためには、愛と和の精神で、活躍できる人材を育成し、全グループ施設を挙げて地域貢献を担うことを目指しています。

質の高い優れた病院、並びに地域貢献の双方において重要な役割を担う、本病院の今後の更なる発展に向けて職員一同鋭意努力して参ります。今後とも一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

医療法人東和会 第一東和会病院

理事長 大西 恭子



## 創立40周年を迎えて

医療法人東和会  
第一東和会病院

院長 田中 源重

第一東和会病院は1982年の開院以来、多くの方々にご支援をいただき創立40周年を迎えることができました。心より感謝申し上げます。

当院は東和会グループの中で、急性期医療を担当しております。2003年に内視鏡外科センター、2013年に脳卒中センター、2014年に膝スポーツ関節鏡センター、2015年にウロギネコロジーセンターを開設しました。さらに、2018年に脳卒中ホットライン、2019年に急性腹症ホットラインを設置し、365日・24時間いつでも緊急手術・治療が可能な体制を整備しました。また、すべての診療科が非常に高い医療レベルで、日々忙しい診療を行っております。当院の特徴の一つは手術件数が多いことです。2022年度は手術件数4754件、全身麻酔2673件でした。これは外科系の医師のモチベーションが高いのは言うまでもありませんが、内科系の医師の協力と、さまざまな職員の努力の結果であります。特に2022年度の緊急手術件数はコロナ関係で予定手術が若干減少したにもかかわらず、564件と過去最高の症例数でした。緊急症例に関しては周辺の医療機関のみならず、他の医療圏からも紹介いただくようになりました。全ての症例に対して最善の治療をなるべく早く提供し、1日も早く社会復帰できるように職員一同努力しております。

また、2019年に地域医療支援病院、2022年に大阪府がん診療拠点病院の認定を取得し、地域医療の基幹病院として、設備の充実、及び診療体制の強化を行っております。

2020年頃から流行した新型コロナウイルスによって社会全体が激変いたしました。当院は地域医療支援病院として、医師会や行政の指導のもと当院として可能な限り協力してゆく所存です。

さらに、2022年には看護師特定行為研修指定施設、臨床修練病院の認可も取得しました。看護師などの医療部門の教育を充実させることで東和会グループ全体の医療レベルを向上させ、三島医療圏に貢献できればと思っております。今後ともご支援、ご指導のほどよろしくお願い致します。



## 回復期の リハビリ病院としての 第二東和会病院

医療法人東和会  
第二東和会病院  
院長 山崎 元

この度は第一東和会病院開院40周年おめでとうございます。1982年に第一東和会病院が開院し、8年後の1990年に第二東和会病院が開院、そして2022年には東和会いばらき病院が開院し、現在は三つの東和会病院が医療法人東和会の傘下に入りました。この間、東和会はさらに北摂の各地域に介護、福祉施設を次々と開設し、北摂地域では最大の医療法人グループに発展しました。

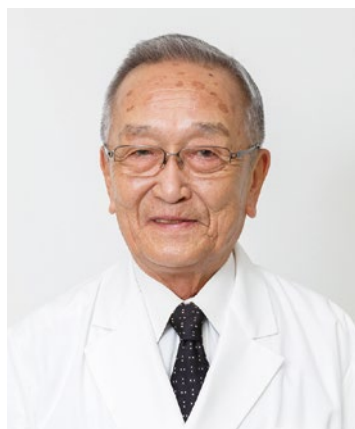
我々グループにはこれからの日本の少子高齢化社会を支える責務がありますし、職員全員が一人丸となってこれからの日本の医療、介護、福祉に押し寄せる荒波を乗り切っていかなければなりません。

飯田 稔会長の正に先見の明で2006年に第二東和会病院に回復期リハビリテーション病棟46床が開設、更に2015年には地域包括ケア病棟47床が開設され、今日の計93床の回復期の第二東和会病院があるのですが、当院の役目は一人でも多くの患者さまが在宅でご家族と一緒に笑顔で楽しく過ごしていただけるよう、入院治療、リハビリテーションを施行させていただき、一人でも多くの患者さまが「ときどき入院、ほぼ在宅」の生活が叶えられるようお手伝いさせていただきたくと考えております。

それには第一東和会病院のみならず高槻市内の他の急性期病院および地域の診療所の先生方との病病連携、病診連携を緊密にとり、顔の見える関係で患者さまの情報交換、治療方針の共有を図り北摂地域の地域医療に貢献したいと思っております。

最後になりますが我々は「愛と和の精神を大切に地域の皆さまに信頼され愛される病院を目指す」とともに職員全員が東和会グループの職員であることに誇りを持って楽しく、明るく仕事ができる病院を目指したいと思っております。

今後とも皆さまのより一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようどうぞよろしくお願い致します。



## 創立 40 周年ご挨拶

医療法人東和会 第二東和会病院

名誉院長 榊原 茂樹

医療法人東和会病院 創立 40 周年おめでとうございます。

東和会グループの年表のようなお話は、多勢の人が書かれると思いますので本日は全く個人的なお話をしたいと思います。

私の人生に大きな影響を及ぼした人が 2 名おられます。

1 人目は東和会グループ会長の飯田 稔先生です。

地域の人々の健康を守る為の取り組む姿勢(情熱、パワー)に共感して、少しでもお手伝いが出来ないかと東和会で働く決意をしたのが 1986 年 9 月 1 日でした。それから早いもので 36 年間経過しております。

もう 1 人は大学卒業後アメリカで研修生活をしていた時、お目にかかり短時間でしたがお話して下さり、この人の様に人生を送りたいなと思った人です。(アメリカ東部のイエール大学教授)彼は私と私の妻に医師、研究者の前に 1 人の人間なのだから、人と人との接触を上手に出来なければならない。

その為にどうしたらいいか、

- ① Smart になる(小ざれいで清潔な身だしなみ)
- ② Smile を心がける(相手の目を見て微笑む)
- ③ Speak out する(よく話し合う)

以上が出来ればほとんどのことは解決されるけれどそれでもうまくいかなかったら

- ④ Service(見返りを期待しない)
- ⑤ Sacrifice(犠牲をする覚悟をする)

を、心がけて下さい。そして全世界の人々がこれを実行出来たら地球上から戦争は無くなるでしょうと話されました。

このお 2 人の影響で地域医療の道に入って約 36 年間あつという間でした。お 2 人の教えが実行出来たかどうか不安ですが、これからも努力するつもりです。

尚、末筆ではございますが東和会病院を飯田会長と共に創立と運営に多大な努力をされた、常盤 由美 統括看護部長が 2022 年 4 月 23 日に亡くなられましたことをお悔やみ申し上げたいと思います。





## 医療法人 東和会 創立メンバーとして

医療法人東和会 第一東和会病院  
診療技術部 部長 清川 雅央

40周年を迎えた今、地域の皆さまに信頼される病院として成長できたのは従業員一人ひとりが病院の理念を大切に受け継いできたことだと思います。

開院当時は一番若い所属長（放射線科）として苦悩しながら取り組んで参りました。背景にはたくさんの先輩方、とりわけお亡くなりになりました若林 光子 事務長、常盤 由美 統括看護部長には本当に病院運営最大の功労者として私自身も大変お世話になり、様々な助言をいただきながら今日を迎えております。また部下や関連するスタッフの方々にも恵まれ現在、診療技術部長として勤め続けてこられましたこと感謝しております。

診療技術部は様々な専門技術を取り扱う業務が主です。その部門のスペシャリストとして貢献することは勿論ですが、私のモットーとしてラグビーに5つのコアバリューというものがあります。「品位・情熱・結束・規律・尊重」の言葉は、組織運営に関わる全ての人に共有すべき価値観です。技術や知識に向き合うだけでなく全員が心をつなぐ一体感を持ち、One Team となって愛と和の精神という東和会の理念・価値観を刻み込んできました。その一途な想いを胸に日々努力を重ねてまいります。今後とも皆さまのさらなるご指導とご支援ご協力を賜りますよう宜しくお願いいたします。





いまや東和会病院は、  
秀抜なる総合病院として  
多くの患者さんに  
安心と安全を与えている。

参議院議員 山東 昭子

四十周年を迎えられる東和会病院、そしてグループの皆様とは、飯田稔会長を筆頭に設立当初からのおつき合いになる。開院したての頃は外科が中心であったと記憶しているが、交通事故を始め、怪我に苦しむ多くの人達を救ってこられた。そして、もっと高槻の地域社会に貢献していきたく、診療科目を増やし、いまや東和会病院は、秀抜なる総合病院として多くの患者さんに安心と安全を与えている。

今日迄、飯田会長と公私共に親しくさせて頂き強く感じてきた事がある。それは、彼は、次々と新たな目標に向かってチャレンジしていくのだが、肩に全く力を入れないで実に英姿颯爽と大事を成し遂げていくのだ。すごいなあ。と、いつも舌を巻いている。

常に、地域にとり、何より患者さんにとって必要な事にいつも思いをめぐらし、ドクターとして、また経営者として、果敢かつ機敏に対応してこられた。はた目には決して分からない御苦労がおりだったことだろう。今では、お嬢様である大西恭子理事長が、志を立派に継いで、幅広い診療体制を支えておられる。本当に頼もしい限りである。

医療制度は絶えず改革を迫られており、我々政治の現場でも日夜喧々鏗々の議論がなされている。だからこそ、東和会の皆が築いてこられた「信頼される温かい心を持った東和会」が、地域にとって頼れる存在であり続ける事が必要なのだ。

応援団の一員として、今後益々の発展を期待して止まない。



地域医療にかける  
並々ならぬ熱意と  
ご努力に対しまして、  
深く敬意を表します。

衆議院議員 橋 本 岳

医療法人東和会 第一東和会病院の創立40周年、誠におめでとうございます。貴病院が40周年を迎えられ、記念誌を発行されることは大変喜ばしく、心からお祝い申し上げます。記念誌発行にあたり医療法人東和会グループ飯田稔会長、第一東和会病院大西恭子理事長はじめ関係各位の地域医療にかける並々ならぬ熱意とご努力に対しまして、深く敬意を表します。

さて、第一東和会病院は飯田稔会長の24時間対応可能な救急病院を作りたいとの思いから1982年(昭和57年)6月に東和会病院として開設されて以降、「愛と和の精神を大切にするとともに、患者さまの人権を尊重し、地域の皆さまに信頼され愛される病院を目指す」ことを理念とし、高槻市民のみならず近隣住民の保健・医療・福祉の中核病院として住民の生活の確保と健康の維持・向上に多大なる貢献を果たされてきました。

また、介護保険制度が施行される以前から介護老人保健施設サンガピア館や療養型病棟の開設など、いち早く介護事業にも取り組まれ、地域に密着した医療・介護を提供する病院として市民の信頼にこたえられてきました。新型コロナウイルス感染症患者が2020年1月に国内においてはじめて確認されて以降は、24時間体制で重傷者、軽・中等症者の入院や、感染症を疑う患者の搬送受け入れ、更に搬送困難患者のトリアージ病院としての役割も担うなど対応可能な体制をいち早く整えられました。当時の厚生労働副大臣として、またダイヤモンド・プリンセス号の対応の現地責任者として、感染症対策の最前線で働いてくださっている皆様に改めて御礼申し上げます。私も飯田稔会長、大西恭子理事長と一緒に、国民の健康を守るために全力で取り組んでまいり所存です。引き続きのご指導ご鞭撻をお願いいたします。

この度の創立40周年を契機に、第一東和会病院がこれからも「地域医療・介護・福祉等のリーダー」として、更に発展されますようお願い申し上げますとともに、病院を支えておられる職員の皆様のご健勝、ご多幸を、心よりお祈りいたします。



より充実した医療体制を  
構築されることで、地域医療が  
一層推進されますことを  
ご期待申し上げます。

高槻市長

濱田 剛史

第一東和会病院が創立 40 周年をお迎えになりましたことに、心よりお慶び申し上げます。貴院は、昭和 57 年の創立以来、「地域の皆さまに信頼され愛される病院」の基本理念のもと、三島医療圏の中核的な病院として積極的に診療体制の充実を図られ、平成 31 年には地域医療支援病院に承認され、さらに令和 4 年 4 月には大阪府がん診療拠点病院の指定を受けられるなど、地域医療の発展に多大な貢献をしてこられました。また、創立以来、救急医療にも積極的に取り組まれ、24 時間市民が安心して医療が受けられる体制を整えていただくなど、三島地域の救急医療体制の充実・強化にご尽力をいただいております。

加えて、新型コロナウイルス感染症への対応におきましても、重症者を含む入院患者の受入や、発熱患者の診療、自宅療養者の外来診療や往診など、感染症対応の要となっており、これらはひとえに、飯田会長、大西理事長、田中病院長をはじめ、職員の皆様の並々ならぬ熱意とご努力の賜物であり、改めまして深く敬意と感謝を表する次第でございます。

本格的な高齢化社会を迎え、社会全体で高齢者を支えあう地域包括ケアシステムの構築が求められる中、今後ますます、地域の核となる病院の役割が重要となっております。このたびの創立 40 周年を契機とされまして、貴院がより充実した医療体制を構築されることで、地域医療が一層推進されますことをご期待申し上げます。

本市といたしましても、市民が健やかで安全・安心に暮らせるまちづくりに全力で取り組んでまいりますので、引き続き、ご支援、ご協力を賜りますことをお願い申し上げます。

結びに、第一東和会病院が、今後も、地域の人々に信頼され愛される病院であり続け、更なる隆盛を極められますことを祈念いたしましてお祝いの言葉とさせていただきます。



これまで多くの府民の命と健康を守られたことに対しまして改めて感謝を申し上げます。

日本医師会 副会長

大阪府医師会 理事 茂松 茂人

医療法人東和会第一東和会病院がこのたび、めでたく創立 40 周年を迎えられますこと、心からお祝い申し上げます。

第一東和会病院は 1982 年 6 月に高槻市で開院され、「地域の人々が安全で安心して暮らせる」を理念に、急性期医療や介護・福祉を総合的に担われ、地域に密着した病院、患者から信頼される病院として、これまで多大な貢献をされました。

特にこの 2 年半は、新型コロナウイルス感染症対応に翻弄され、今もなお世界中を脅かし続けております。このような状況にもかかわらず、コロナ入院患者の受け入れをはじめ、外来での診療・検査、高齢者施設への往診やクラスター対応など、これまで多くの府民の命と健康を守られたことに対しまして、改めて感謝を申し上げます。

さて、感染症によるパンデミックに対する我が国の危機管理体制や医療提供体制の脆弱性が今回の新型コロナウイルス感染症により浮き彫りとなりました。政府は医療提供体制が逼迫したのは、医療資源が散在し手薄な人的配置となっていることが問題であるとし、地域医療構想、医療従事者の働き方改革、医師偏在対策の三位一体での推進が重要であると結論付けております。しかし、このような事態を招いたのはそうではなく、長年に渡る医療費抑制策によって医療機関が余裕をなくし、コロナ禍の有事に十分に対応できる余力をなくしてしまったことが原因ではないでしょうか。

更に政府は医療デジタル化推進として、オンライン診療やオンライン資格確認、様々な医療情報を共有する「全国医療情報プラットフォーム」の創設も検討しております。

医療は決してサービスではなく、人の生命と健康を守る国家の基本的な安全保障であります。安心して暮らせる社会を築けるよう、政府等にも強く訴えかけていきますので、どうかご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、第一東和会病院が益々ご発展されますよう、また、皆様のご健勝とご活躍を心から祈念いたしまして、私からのお祝いの言葉とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。



## 高槻市医師会としても 第一東和会病院は 大変心強い存在です。

一般社団法人高槻市医師会

会長 保田 浩

このたび、医療法人東和会 第一東和会病院が創立 40 周年の大きな節目を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

貴院は、昭和 57 年に開設されて以来、地域の急性期医療を支えるとともに、患者の多様なニーズに応える総合的な医療を提供する病院として、救急の受け入れをはじめ、三島地域の安全と安心な生活の根幹を支えていただいています。最新の施設・設備による救急告示病院としての充実、更には、災害時の拠点施設としての機能強化など、高槻市医師会としても貴院は大変心強い存在であります。

新型コロナウイルス感染症の発生から 2 年以上が経ちましたが、新型コロナウイルスワクチン接種、新型コロナウイルス感染症患者さんの入院、診療など、この地域の中心的な役割を担っていただいております、その対応の速さにはいつも驚かされております。

さて、本格的な超高齢・少子社会を迎えまして、保健・医療・介護を取り巻く環境は非常に厳しくなっております。超高齢・少子化に伴う医療提供体制の再構築や医師の地域偏在、診療科偏在の問題、更には医療の高度化等に伴う医療費の増大への対応など、多くの問題が山積しており、わが国の医療が進むべき道筋を早急に示す必要があると考えます。

このような状況のもとではありますが、貴院は、地域の医療機関との連携を大切にされており、当医師会もまた、地域住民の健康と幸せを守るために「病病連携」、「病診連携」を推進していく所存であります。皆様には、引き続き質の高い地域医療の提供を通じまして、市民の皆様が将来にわたって安心して暮らし続けられるよう、より一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、今後の医療法人東和会様の更なる飛躍と発展を遂げられますこと並びに皆様の益々のご健勝とご活躍を祈念申し上げます、お祝いの言葉とさせていただきます。



## 「リーダーの器」

学校法人大阪医科薬科大学

理事長 植木 實

この度、医療法人東和会におかれましては、第一東和会病院創立 40 周年を迎えられ、誠に御目出度うございます。診療科目や病床数の増加に加え、老人・福祉施設、訪問看護・介護や各種こども園の設置など、益々のご発展にお慶びを申し上げます。

前回の貴院創立 30 周年記念祝賀会では、私は御祝の詞の中で『將たる所以』（梅原猛著）で印象に残ったリーダーの器としての必要条件 10 か条の中からいくつかを取り上げ、創立者であり現会長の飯田稔先生の姿と照らし合わせて感想を述べました。1 つにはリーダーははっきりした意志と見通しを持っていること、2 つ目はリーダーには時代の理念、即ち、時流にマッチした経営感覚を持つこと、そして 3 つ目にはリーダーは危機に強くなければならないなど、飯田会長はそのいずれも備えておられることを申しました。

そして今回、さらにその後の 10 年間の飯田会長のご活躍と東和会の成長ぶりを照らし合わせて再び検証してみました。飯田会長は、リーダーとして東和会組織に自らの経営理念や意志を十分伝えながらガバナンスを効かせて、絶えず時流に合った経営をされておられること、及び組織の持つ経営リスクを巧みに避け、或いは切り抜けておられることなど、医療経営人としてのこれらの条件に一層磨きをかけておられ、組織内での職員に対するカリスマ charisma を遺憾なく発揮されておられる姿は感服の至りです。

地域の人々が安全で安心して暮らせるよう、救急病院を作りたいとの思いで開院された東和会病院に始まり、現在の大きな組織へと飛躍を遂げられた医療法人東和会におかれましては、これからも理念として掲げられる『愛』と『和』の精神のもと、地域の住民に信頼され愛される病院として、介護・福祉領域を含め、益々発展されますよう祈念申し上げます。



地域の医療、介護、福祉に  
多大な御貢献を果たして  
こられましたことに  
敬意と感謝の念を表します。

大阪医科薬科大学

学長 佐野 浩一

この度は創立40周年を迎えられましたことに心よりお祝い申し上げます。

開院以来40年の永きにわたり地域の医療、介護、福祉に多大な御貢献を果たしてこられたことに敬意と感謝の念を表します。

教室の同門が東和会病院に転勤することや、開院の前にはときおり飯田先生の御指導を受けながら大阪市内の病院で当直をさせていただいたご縁もあり、40年前に催されました開院式に私は出席者の随行を許されました。

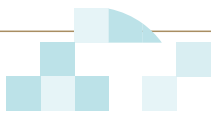
当時の大阪医科大学学長、故・山中太木先生が数十分に延ぶ熱い祝詞の中で「東和」すなわち母校大阪医科大学の東に同窓が和するのだと力強く述べられたことをつい先日のことのように思い出します。その祝詞の中であつたか、式典後の懇親の場であつたかは記憶が定かではありませんが、論語の「礼を用すれば、和を以て貴しとなす」を滔々と語っておられたことを覚えております。

ご開院は、東北新幹線が開業し、日本経済の好調が全国的に拡がりを見せていた頃のことです。以来、社会の様相が様々に変わり疾病構造も大きく変化する中で、貴院におかれましては時宜に応じて地域社会に貢献してこられました。そして現在、超少子高齢社会となり、新型コロナウイルス感染症の猖獗と戦争による世界的な混乱が加わり、私たちの価値観の変化を伴いながら、社会は想定を超える速さで大きく変化しており、貴院におかれましては迅速かつ賢明な判断の下で一層地域に貢献されることと思います。

今后、私たちは Society 5.0 に向かって枝分かれする葛折りの山道をかなりのスピードで登ることになります。その道は起伏もあり、その勾配も急緩様々で、私たちは遠く山の頂を見据えて紆余曲折しながら進むのだと思います。そのような歩みの中、貴院が新しい社会が求める医療、介護、福祉の実践に励まれ益々御発展されますよう祈念申し上げお祝いの詞といたします。



# 第一東和会病院について



東和会病院 開院 (1982)



6月  
・「東和会病院」開設(65床)

第二東和会病院 開設 (1990)



第二東和会病院  
手術室にて  
(1990)

11月  
・「第二東和会病院」開設(103床)

サンガピア館 地鎮祭 (1997)



11月  
・医療法人 東和会「第一東和会病院」  
に病院名変更  
・老人保健施設「サンガピア館」開設

1982  
昭和 57 年

1990  
平成 2 年

1997  
平成 9 年

1986  
昭和 61 年

1991  
平成 3 年

[1982年の出来事]  
・500円硬貨発行  
・テレホンカード使用開始

[1995年の出来事]  
・阪神淡路大震災  
・地下鉄サリン事件

[1997年の出来事]  
・消費税率を5%に引き上げ  
・大阪ドーム完成

9月  
・「東和会病院」140床に増床

1月  
・「医療法人 東和会病院」に組織変更



東和会病院増築 地鎮祭 (1986)



増築竣工披露パーティ (1986)



創立 10 周年記念祝賀会 (1993)

ケアプランセンター ともいき 開設 (1999)



- 9月
  - ・居宅介護支援事業所「東和会ともいき」開設
- 10月
  - ・「社会福祉法人 恭生会」法人認可

和朗園・佑和 地鎮祭 (2002)



開院 20 周年記念慰労会 (2002)



- 11月
  - ・ヘルパー二級課程研修 開校
  - ・総合介護福祉施設「和朗園・佑和」竣工
- 12月
  - ・「恭生クリニック」認可

[1998 年の出来事]  
 ・ Windows 98 発売  
 ・ 郵便番号 7 桁化

1999  
 平成 11 年

2002  
 平成 14 年

1998  
 平成 10 年

2000  
 平成 12 年

2003  
 平成 15 年

[2000 年の出来事]  
 ・ 新紙幣 2000 円札発行  
 ・ イチロー大リーグへ移籍

- 2月
  - ・「訪問看護ステーション 東和会」開設
- 9月
  - ・「第一東和会病院」「第二東和会病院」開放型病院 許可



訪問看護ステーション 東和会 開設 (1998)

- ・介護保険事業開始(介護保険法施行)
- 2月
  - ・在宅複合型老人介護施設「天兆園」竣工
  - ・訪問介護「東和会 ハート」開設
- 7月
  - ・「デイケアセンター 東和会」開設
  - ・「訪問看護ステーション アイ」開設
  - ・「ケアプランセンター 東和会ダイチ」開設

- 2月
  - ・ヘルパーステーション「和朗園」認可
- 6月
  - ・「第一東和会病院」内視鏡外科センター 開設
- 7月
  - ・「第一・第二東和会病院」合併(243床)



入社式 (2003)



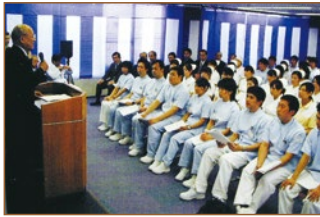
第二東和会病院 (1998)



永年勤続報奨海外旅行 (2000)



入社式 (2004)



医局の先生方 (2004)



6月  
・「第二東和会病院」  
療養型病院 開設(93床)

104歳最高齢大腿骨頸部骨折手術 (2006)



3月  
・介護付有料老人ホーム「みやの楽々園」開設

4月  
・「みやの愛光保育園」開園  
・「五領・上牧地域包括支援センター」開始

11月  
・「第二東和会病院」回復期リハビリテーション病棟  
開設(46床)

内視鏡外科手術 2000例達成 (2009)



4月  
・「第一東和会病院」  
DPC 対象病院 承認  
・茨木市地域包括支援センター  
「天兆園」開始

2004  
平成 16年

2006  
平成 18年

2009  
平成 21年

2005  
平成 17年

2007  
平成 19年

[2004年の出来事]  
・新紙幣発行  
(福澤諭吉、樋口一葉、野口英世)

[2006年の出来事]  
・第1回 WBC 開幕

[2009年の出来事]  
・マイケル・ジャクソン死去  
・裁判員制度が始まる

7月  
・「第一東和会病院」(財)日本医療機能  
評価機構 病院機能評価 Ver.4.0 認定

8月  
・「第一東和会病院」一般病棟 7対1 入院基本料 承認  
9月  
・「第一東和会病院」臨床研修指定病院(協力型) 認定



成人式御祝 (2005)



院内戴帽式 (2005)



25周年記念祝賀会 (2007)



内視鏡外科手術 1000例達成 (2007)

高槻市医師会永年勤続表彰 (2011)



新人歓迎会 (2011)



6月  
医療法人 東和会「東和会クリニック」開設

[2011年の出来事]

- ・東日本大震災
- ・地上デジタル放送に完全移行

院内研修 (2013)



災害時医療救護に関する協定調印式 (2013)



10月  
・「第一東和会病院」標榜科「血液内科」「消化器内科」「循環器内科」許可

2010  
平成 22年

2011  
平成 23年

2012  
平成 24年

2013  
平成 25年

2014  
平成 26年

- 4月
- ・飯田 稔 理事長 高槻市医師会長に任命
  - ・敷地内完全禁煙 実施
  - ・「第一東和会病院」HCU(8床) 入院医療管理料 承認

- 9月
- ・「第一東和会病院」(財)日本医療機能評価機構 病院機能評価 Ver.6.0 認定



内視鏡外科手術 3000例達成 (2009)



病院機能評価受診 (2010)

- 4月
- ・「かんまぎ和光保育園」開園
- 5月
- ・「第一東和会病院」標榜科「泌尿器科」許可
- 6月
- ・「第一東和会病院」手術室棟 増築棟竣工
- 10月
- ・「第一東和会病院」標榜科「消化器外科」許可
- 12月
- ・「第一東和会病院」短期滞在手術基本料 1、2 承認

- 10月
- ・「第二東和会病院」回復期リハビリテーション病棟 入院料I(46床) 承認



感染対策研修 (2014)



109歳最高齢開腹手術成功 (2012)



- 2月
  - ・「第二東和会病院」  
地域包括ケア病棟入院料I(47床)承認
- 3月
  - ・「第一東和会病院」ウロギネコロジーセンター開設
- 7月
  - ・「第一東和会病院」(財)日本医療機能評価機構  
病院機能評価 一般病院2 3rdG:Ver.1.1 認定

高槻市医師会実地実習 (2015)



救急隊員勉強会 (2017)



高槻市健康食育フェア (2017)



北摂地区救急隊員勉強会 (2015)



- 4月
  - ・「放課後ひろば 和っはっは」(学童)開設
- 5月
  - ・「第一東和会病院」標榜科「糖尿病内分泌内科」許可
  - ・「第一東和会病院」標榜科「ペインクリニック内科」許可
- 9月
  - ・介護職員等喀痰吸引研修 開校

[2016年の出来事]  
 ・マイナンバー制度開始  
 ・熊本地震

2015

平成 27 年

2017

平成 29 年

2016

平成 28 年

2018

平成 30 年

東和会在宅センター開設 (2016)



- 1月
  - ・「恭生会」介護職員初任者研修開講
- 2月
  - ・「東和会在宅センター」開設
  - ・「愛光認定こども園」「和光認定こども園」と名称変更
- 4月
  - ・「第一東和会病院 健診センター」開設
  - ・「ケアプランセンター しまもと」開設
  - ・「訪問看護ステーション東和会 しまもと」サテライト開設
- 8月
  - ・「訪問リハビリテーション東和会」開設
- 10月
  - ・「第一東和会病院」標榜科「女性泌尿器科」許可
- 11月
  - ・「第一東和会病院」標榜科「乳腺外科」許可



ケアプランセンターしまもと  
開設 (2016)

- 4月
  - ・急性期一般入院料 I(7対1)承認
  - ・「企業主導型保育園みらい」開園



高槻まつり (2018)



新人歓迎会 (2018)



日中胃腸腫瘍外科医師交流会 (2018)

- 2月  
 ・「第一東和会病院」地域医療支援病院 認定
- 4月  
 ・「第一東和会病院」標榜科「皮膚科」許可  
 ・清溪(きよたに)・忍頂寺(にんちやうじ)・山手台  
 「地域包括支援センター」開設



内視鏡外科手術 10,000 例達成 (2019)



市民公開講座 (2019)

2019  
 平成 31・令和元年

- [2019 年の出来事]  
 ・消費税が 10% に増税  
 ・京都アニメーション放火事件

がん拠点病院実地調査 (2021)



ロータリークラブ贈呈 (2021)



冠小学校  
 プレゼント贈呈 (2021)

- 12月  
 ・「住宅型有料老人ホーム レジデンス TOWA」68 床  
 「デイサービスセンター島本」「ヘルパーステーション島本」  
 「訪問看護ステーション島本」開設

2021  
 令和 3 年

2020  
 令和 2 年

入社式 (2020)



- [2020 年の出来事]  
 ・新型コロナウイルス流行



市民公開講座 (2020)

- 5月  
 ・「第一東和会病院」標榜科「精神科」許可
- 7月  
 ・「第一東和会病院」標榜科「歯科口腔外科」許可  
 ・「歯科口腔外科」開設
- 9月  
 ・「第一東和会病院」(財)日本医療機能評価機構  
 病院機能評価 一般病院 2 3rdG:Ver.2.0 受審
- 8月  
 ・「第一東和会病院」大阪府新型コロナウイルス感染症  
 協力医療機関 疑似症 1 床 陽性者 1 床

永年勤続の表彰 (2022)



- 1月  
 ・「東和会いばらき病院」43 床 事業譲渡
- 2月  
 ・「フィジカルフィットネス TOWA」  
 「アイ鍼灸整骨院」開院
- 3月  
 ・就労継続支援 A 型事業所「ハーモニー」開設
- 4月  
 ・「第一東和会病院」大阪府がん診療拠点病院承認



東和会いばらき病院 (2022)



フィットネス TOWA (2022)

## 使 命

医療人として組織人として地域・社会に貢献し  
誰もが最期まで笑顔で過ごせるよう  
愛と和の心で惜しみない努力を続ける

1982年6月1日、高槻の地に東和会病院は誕生しました。  
当時、24時間365日救急を受け入れる病院も数少なく  
65床は即満床となり地域のニーズに応えることが出来ました。

そこから40年、社会情勢や医療情勢はめまぐるしく変化し  
それに遅れることなく前進し、医療だけではなく  
高齢化社会に対応した介護・福祉分野にも取り組みました。

そして

女性活躍推進への取り組みとし、認定こども園を設立しました。  
社会の変化やグループの成長と共に使命も変化してきました。

東和会の理念である愛と和の精神を基軸とし、地域や患者さま  
職員の声に耳を傾け、使命を全うしていきます。

*All you need is Love...*

## ビジョン

- 1 二次救急告示病院として、24 時間体制の救急医療をさらに充実強化し急性期病院の責務を全うします。
- 2 大阪府がん診療拠点病院として、大阪府のがん医療水準の向上を図るとともに、患者さまに安心かつ適切ながん医療を提供していきます。
- 3 地域医療支援病院として、病院設備・医療機器の共同利用、地域の医療従事者への研修会の開催、紹介・逆紹介の推進など、これからも地域のかかりつけ医を支援する役割を担っていきます。
- 4 医師の働き方改革を推進し、コメディカルの専門性を活用し、タスク・シフト/シェアを積極的に進め、ICT・デジタルツールの導入による業務効率化を図る。
- 5 職員を大切にし人財育成に注力すると共に、魅力ある・働きがいやりがいのある職場を提供するため、職員自らが考え環境を作れるような仕組みを構築する。



# 1

## 二次救急告示病院として

### — 救 急 科 —

## 365日、24時間断らない医療体制を提供する



平素より地域の先生や救急隊の方々には大変お世話になっており、ありがとうございます。

救急科では平日時間内だけでなく、平日時間外および休日は2名の医師が救急外来において診察にあたり、必要に応じて各診療科がバックアップしてきました。

さらなる救急医療体制の充実を図るべく、2018年4月に「脳卒中ホットライン」を開設し、24時間365日脳外科医が脳卒中を迅速に診断・治療(手術、血管内治療、血栓溶解療法など)できる体制を確立しました。2018年11月には、「急性腹症ホットライン」を開設し消化器外科医、消化器内科医、婦人科医、泌尿器科医が連携して診療にあたり、迅速に診断から治療までを行う体制を確立しました。2020年には北摂地域で初の腹部救急医学会認定施設の指定を受け、日々吐血、下血を含む急性腹症の患者さまの緊急手術(年間約220件)や緊急内視鏡処置(年間約200件)を積極的に行っております。

皆さまに脳卒中および急性腹症ホットラインを利用していただくことで、地域の救急医療により一層貢献できると考えております。是非ご利用をよろしくお願いします。



## 2

## 大阪府がん診療拠点病院として

「安心・安全」ながん医療を  
専門多職種チーム医療で提供する

およそ40年前、日本人の死因第1位は脳血管疾患から悪性新生物(がん)にかわりました。それ以降、日本人の死因第1位は常に悪性新生物(がん)であり、現在日本人の2人に1人はがんに罹患するといわれています。がんは、わたしたちの身近な病気のひとつになっています。

大阪府では、患者さまに安心して適切ながん医療を提供すること、また大阪府のがん医療水準の向上を目的に、「大阪府がん診療拠点病院」の認定を行っています。第一東和会病院では、地域の患者さまに安心安全ながん医療を提供することに注力しており、この度2022年4月に大阪府知事より「大阪府がん診療拠点病院」の認定を受けました。



がんは、わたしたちの身近な病気であると同時に、その治療には専門的な知識や高度な技術を必要とします。第一東和会病院では、がんの診断から手術、化学療法、緩和ケアなど全ての治療において、専門多職種が連携し、患者さま中心の切れ目ない診療を行っています。

手術や化学療法などの集学的治療では、認定資格を取得した専門スタッフを多数配置し、それぞれの部署が密に連携しています。治療中はもちろん、治療開始前から治療後に至るまで安心安全な治療を受けていただけるよう、チームで患者さまをサポートしています。

専門多職種で構成する緩和ケアチームは、診断時からの緩和ケアを実践しています。診断直後の不安な時期から患者さま・ご家族さまと関わり、適切な治療にむけてサポートしています。また、がん疼痛に対しては、緩和ケアチームの麻酔科専門医による神経ブロックなどの処置も実施しています。さらに、第一東和会病院の特色として、音楽療法士による音楽療法も実施しており、チーム一丸となって患者さま・ご家族さまのケアを行っています。

日常生活や治療・療養に伴う問題や不安については、がん相談支援センターの専門の看護師・相談員がお伺いしています。地域の医療機関との連携や適切な社会資源の活用などを提案することで、患者さま・ご家族さまの生活をサポートしています。

どのような状況の患者さまにおいても、緊急時は24時間365日、手術・処置等を含めた対応可能な診療体制を整備しています。お困りの際は、地域連携室までご相談ください。

これからもがん医療を支える拠点病院として、地域医療に貢献してまいります。



## 地域医療支援病院として

地域医療支援病院とは地域にお住まいの方が身近で安心して医療が受けられる様に地域のかかりつけ医を支援する役割を担っています。病院設備・医療機器の共同利用、地域の医療従事者への研修会の開催など、地域全体の医療体制づくりが求められ、当院は大阪府知事より2019年2月に「地域医療支援病院」の承認を受けました。

紹介患者さまへの医療提供については救急・手術・入院医療を中心にかかりつけ医をサポートし、迅速に対応できる様に病状が安定した患者さまには地域の医療機関に逆紹介を進めております。患者さまが住み慣れた地域で治療が完結できる様にかかりつけ医の皆さまと地域医療を支える病院となれる様に連携の強化に努めて参ります。

### 地域連携室・医療福祉相談室



### 私達が病院と地域を繋ぎます

地域連携室は、現在12名のスタッフが在籍しております。

地域連携室の役割は、院外の機関と院内を繋ぐ窓口となり、様々な連携・調整を行っています。特に、地域の診療所の先生方より、多くの患者さまをご紹介いただき、受け入れの調整や多種多様なご相談に対応しております。

また、患者家族の相談支援を担当しており、医療のみならず、公的機関や介護・福祉等様々な領域の方々と連携をとりながら患者さまの支援を行っています。

2020年からの新型コロナウイルス感染症に伴い、連携の在り方が大きく変わりましたが、地域の皆さまと協力し乗り越えていきたいと思っております。

当院は、地域医療支援病院、大阪府がん診療拠点病院、開放型病院として地域に密着した病院です。これからも地域連携室一同、地域の皆さまの期待に応えられるよう努めて参りたいと思っております。

## 4

## 医師の働き方改革推進

人口の減少や医療ニーズの多様化に加え、医師等の偏在などを背景として医療機関における医療従事者の確保が困難な中、質の高い医療を提供する体制を構築・継続するためには、勤務環境の改善を通じ、医療従事者が健康で安心して働くことができる環境整備を促進することが重要であると考えます。

未だ収束を見ない新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の拡大で、経済や生活基盤に大きな支障が出る中、医療機関も大きく揺れています。感染症の拡大に伴い、医療従事者の安全確保や患者増大に伴う医療崩壊という言葉が多く報道されるたびに、働き方改革はどこへ行ってしまおうと不安を感じることもあります。

当院に限らず、病院で働く勤務医は長年長時間労働が深刻な問題となってきました。これまで、労働時間が厳しく制限されることがなく、特に医師不足の地域や診療科では、過労死ラインを超える残業が相次いでいました。そこで国を挙げて「医師の働き方改革」の実施に踏み切りました。この働き方改革、一般の企業においては既に2019年度から順次スタートしていますが、医師の場合、患者さまへの影響も大きく準備期間が必要なことから、5年遅れの2024年4月から始まります。

当院では法律の施行に先立ち、まず以下の取り組みを行いました。

- ◎ 正確な労働時間の把握と管理
- ◎ 医師の意識改革
- ◎ 複数主治医制の導入検討
- ◎ 特定行為看護師・薬剤師・臨床工学技士の業務拡大
- ◎ ICT機器の導入

正確な労働時間を把握するためには、医師の協力が必須であります。そのためにも、まずは医師の意識改革が重要であると考え、働き方改革対策委員会を発足させ4名の医師が積極的に医局に働きかけをする仕組みとしました。

そして次なる取り組みとして、以下を推進します。

- ◎ 医師事務作業補助者や看護補助者の業務拡大
- ◎ ICT機器の活用
- ◎ 業務改善・効率化
- ◎ 業務処理能力の向上

医師の働き方改革の推進と共に、医師以外の医療従事者の職場環境も整えなければなりません。限られたリソースを最大限有効活用し、業務の効率化を図ることが「働き方改革」の鍵となるでしょう。

快適な職場環境の形成は、当院の全スタッフの健康増進と安全確保に繋がります。医療の質を高め患者さまの安全と健康の確保へと繋がります。医療従事者、経営、患者さまにとってWIN-WIN-WINとなるような好循環を生み出せるよう取組を継続してまいります。

# 5

## 職員は宝

昭和 57 年 6 月 1 日医師 3 名、従業員 30 名ほどで開院しました。開院時の 65 床から昭和 61 年には 140 床となり、平成 15 年には現在の病床数 243 床となりました。

関連施設も増加し、従業員数は 1400 名を越える大所帯の組織へと成長しました。

成長ステージを「創業期→成長期→安定・拡大期→再成長期」で表すと、現在の東和会は「成長期」に当たると思います。一般的にこの時期に必要な事は、組織体制の強化・業務のマニュアル化・職員の教育体制の整備・管理職の育成とされています。

医療法人東和会においても、最新鋭の医療機器導入や、病院の建物の拡大新築といったハード面だけでなく、東和会グループで働く職員の処遇改善、モチベーションアップといったソフト面にも力を入れて行く時期だと考え、2017 年 HRM 制度設計に着手し、東和会独自の人事評価制度・等級制度・給与制度を完成させました。その中で一番大切にしたい事は、制度の中に東和会の理念・ビジョン・想いを入れることです。愛と和を大切にす人物であって欲しい。地域貢献の意識を持って欲しい。チャレンジ精神を持って欲しい。そして東和会の想いである、職員がこころも身体も健康であって欲しい。そんな想いを込めて各種制度設計を行いました。

制度が完成しても、風土・意識改革に至るには多くのハードルもあり、時間がかかるでしょう。変革はまだ始まったばかりです。多くの困難に立ち向かい、ぶれない軸で前へ進み続け、職員と共に成長し続けることがさらなる東和会の成長発展に繋がると思っております。

職員の健康は、患者さまや利用者さまへの質の高い医療やサービスの提供に繋がると思います。理事長は「職員は宝」だと言います。2023 年には健康経営優良法人の認定も取得しました。トップダウンの風土からボトムアップを取り入れ、Z 世代からシニア世代まですべての職員が活躍できる。適材適所、部署間・施設間の風通しを良くし、横断的に活動できる場を提供していきたいと考えています。

今後の課題は、教育制度の再構築です。病院の職員は資格を持つ専門職種が多く占め、専門分野の知識習得や技術向上に日々励んでいますが、専門分野以外の教育に課題があると感じています。チームビルディングやクリティカルシンキング、リーダーシップ、マネジメント研修など各等級に合わせた階層別研修システムや e-ラーニング、Off-JT も積極的に取り入れ、職員の自己啓発を促し積極的に支援していく。その中で、東和会の理念やビジョンをちりばめ、浸透させていきたいと考えています。

「人材」ではなく「人財」。

「職員は宝」の想いを持って、これからもすべての職員が自己研鑽に励んでまいります。

# 第一東和会病院 施設基準

事項	算定開始年月日
初診料（歯科）の注1に掲げる基準	令和 2年 7月1日
一般病棟入院基本料	令和 4年 4月1日
急性期充実体制加算	令和 4年 4月1日
救急医療管理加算	令和 2年 4月1日
超急性期脳卒中加算	平成29年 8月1日
診療録管理体制加算1	平成26年 4月1日
医師事務作業補助体制加算1	令和 2年 4月1日
急性期看護補助体制加算	平成26年 4月1日
看護職員夜間配置加算	平成28年 4月1日
緩和ケア診療加算	令和 4年 4月1日
栄養サポートチーム加算	平成24年12月1日
医療安全対策加算1	平成30年 4月1日
医療安全対策地域連携加算	平成30年 4月1日
感染対策向上加算1	令和 4年 4月1日
指導強化加算	令和 4年 4月1日
患者サポート体制充実加算	平成24年 4月1日
重症患者初期支援充実加算	令和 4年 4月1日
報告書管理体制加算	令和 4年 4月1日
褥瘡ハイリスク患者ケア加算	平成26年 1月1日
呼吸ケアチーム加算	平成22年 4月1日
後発医薬品使用体制加算1	令和 4年 4月1日
病棟薬剤業務実施加算1	平成24年 4月1日
データ提出加算	平成26年 4月1日
入退院支援加算	令和 2年 4月1日
入院時支援加算	令和 2年 4月1日
総合機能評価加算	令和 2年 4月1日
認知症ケア加算	令和 2年 4月1日
せん妄ハイリスク患者ケア加算	令和 2年 4月1日
精神疾患診療体制加算	令和 2年 4月1日
排尿自立支援加算	平成29年 3月1日
地域医療体制確保加算	令和 2年 4月1日
ハイケアユニット入院医療管理料1	令和 4年 4月1日
短期滞在手術等基本料1	平成24年12月1日
入院時食事療養／生活療養（1）	平成 3年 1月1日
外来栄養食事指導料の注2に規定する基準	令和 2年 4月1日
糖尿病合併症管理料	平成24年 6月1日
がん性疼痛緩和指導管理料	平成22年 4月1日
がん患者指導管理料イ	平成23年12月1日
がん患者指導管理料ロ	平成26年 4月1日
がん患者指導管理料ニ	令和 2年 4月1日
外来緩和ケア管理料	令和 4年 2月1日
糖尿病透析予防指導管理料	平成24年 6月1日
婦人科特定疾患治療管理料	令和 2年 9月1日
二次性骨折予防継続管理料1	令和 4年 4月1日
二次性骨折予防継続管理料3	令和 4年 4月1日
地域連携夜間・休日診療料	平成22年 6月1日
院内トリアージ実施料	平成24年 4月1日
夜間休日救急搬送医学管理料の注3に規定する救急搬送看護体制加算	令和 2年 4月1日
外来腫瘍化学療法診療料1	令和 4年 4月1日
連携充実加算	令和 4年 4月1日
ニコチン依存症管理料	平成29年 7月1日
療養・就労両立支援指導料の注3に規定する相談支援加算	令和 4年 1月1日
開放型病院共同指導料	平成10年 9月1日
がん治療連携指導料	平成22年10月1日
外来排尿自立指導料	平成29年 3月1日
薬剤管理指導料	平成22年 4月1日
地域連携診療計画加算	平成28年 4月1日
医療機器安全管理料1	平成20年 4月1日
歯科治療時医療管理料	令和 2年 7月1日
在宅患者歯科治療時医療管理料	令和 2年 7月1日

地域に密着した病院として、より高いレベルの診察をご提供できるよう、常に先端の医療技術を導入しています。また、病状をよりの確に判断サポートするために、最新のハイテク機器の導入にも積極的に取り組んでいます。

事項	算定開始年月日
在宅療養後方支援病院	平成26年 4月1日
B R C A I / 2 遺伝子検査	令和 2年 4月1日
H P V 核酸検出及びH P V 核酸検出 (簡易ジェノタイプ判定)	平成28年 2月1日
検体検査管理加算 (Ⅲ)	平成31年 4月1日
遺伝カウンセリング加算	平成30年12月1日
時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	平成29年12月1日
神経学的検査	平成20年 4月1日
小児食物アレルギー負荷検査	令和 元年 6月1日
画像診断管理加算 2	平成20年 4月1日
C T 撮影及びM R I 撮影	平成29年 6月1日
冠動脈C T 撮影加算	平成22年 4月1日
抗悪性腫瘍剤処方管理加算	平成22年 4月1日
外来化学療法加算 1	平成20年 4月1日
無菌製剤処理料	平成25年 2月1日
脳血管疾患等リハビリテーション料 (1)	平成24年 4月1日
運動器リハビリテーション料 (1)	平成24年 4月1日
呼吸器リハビリテーション料 (1)	平成24年 4月1日
がん患者リハビリテーション料	平成24年 3月1日
歯科口腔リハビリテーション料 2	令和 2年 7月1日
医科点数表第 2 章第 9 部処置の通則の 5 に掲げる処置の休日加算 1	令和 元年 8月1日
医科点数表第 2 章第 9 部処置の通則の 5 に掲げる処置の時間外加算 1	令和 元年 8月1日
医科点数表第 2 章第 9 部処置の通則の 5 に掲げる処置の深夜加算 1	令和 元年 8月1日
人工腎臓	平成30年 4月1日
導入期加算 1	平成30年 4月1日
透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	平成25年 8月1日
下肢末梢動脈疾患指導管理加算	平成31年 3月1日
磁気による膀胱等刺激法	平成27年 3月1日
C A D / C A M 冠及びC A D / C A M インレー	令和 2年 7月1日
組織拡張器による再建手術 (乳房 (再建手術) の場合に限る。)	平成28年12月1日
椎間板内酵素注入療法	令和 3年 7月1日
脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	平成12年10月1日
仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術 (便失禁)	平成30年 6月1日
仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術 (過活動膀胱)	平成29年 9月1日
緑内障手術 (緑内障治療用インプラント挿入術 (プレートのあるもの) )	令和 3年 9月1日
緑内障手術 (緑内障手術 (流出路再建術 (眼内法) ) 及び水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)	平成30年 4月1日
緑内障手術 (濾過胞再建術 (needle法) )	令和 4年 5月1日
乳がんセンチネルリンパ節加算 2 及びセンチネルリンパ節生検 (単独)	平成28年 2月1日
乳腺悪性腫瘍手術 (乳輪温存乳房切除術 (腋窩郭清を伴わないもの) ) 及び乳輪温存乳房切除術 (腋窩郭清を伴うもの) )	平成29年10月1日
食道縫合術 (穿孔、損傷) (内視鏡によるもの) 、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻口閉鎖術、胃瘻閉鎖術 (内視鏡によるもの) 、等	平成30年 4月1日
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	平成10年 5月1日
腹腔鏡下胃縮小術 (スリーブ状切除によるもの)	平成30年 4月1日
体外衝撃波胆石破碎術	平成26年 8月1日
腹腔鏡下肝切除術	令和 2年 4月1日
体外衝撃波膵石破碎術	平成26年 8月1日
腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	平成26年 4月1日
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	平成24年 4月1日
体外衝撃波腎・尿管結石破碎術	平成24年 7月1日
膀胱水圧拡張術及びハンナ型間質性膀胱炎手術 (経尿道)	平成27年 4月1日
腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	平成27年 7月1日
人工尿道括約筋植込・置換術	平成27年 5月1日
腹腔鏡下仙骨腔固定術	平成28年 4月1日
医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則の 12 に掲げる手術の休日加算 1	令和 元年 8月1日
医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則の 12 に掲げる手術の時間外加算 1	令和 元年 8月1日
医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則の 12 に掲げる手術の深夜加算 1	令和 元年 8月1日
医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則の 16 に掲げる手術	平成26年 4月1日
周術期栄養管理実施加算	令和 4年 4月1日
輸血管理料Ⅱ	平成18年 6月1日
輸血適正使用加算	平成24年 4月1日
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	平成24年 6月1日
胃瘻造設時嚥下機能評価加算	平成26年 4月1日
麻酔管理料 (1)	平成21年 2月1日
周術期薬剤管理加算	令和 4年 4月1日
クラウン・ブリッジ維持管理料	令和 2年 7月1日
酸素の購入単価	令和 4年 4月1日



## 診療科の紹介

## 内視鏡外科センター



### ◎地域医療における腹部救急領域の 最後の砦としての矜持をもち診療にあたる

### ◎恒に研鑽を怠らず、より高いレベルの診療を提供する

平素より地域の先生方には大変お世話になっており、ありがとうございます。

消化器外科・一般外科をご紹介します。2003年に現名誉院長である藤村が内視鏡外科センターを立ち上げて以来19年が経ちました。開設当初は内視鏡外科手術件数は年間300件程度でありましたが、2019年には累計1万件を突破し、現在も順調に手術件数を増やしています。

当初は消化器外科領域で立ち上げた内視鏡外科センターは、今では婦人科領域、骨盤臓器脱に代表されるウロギネ領域にまで拡大しております。今後も開腹手術よりも手術侵襲の少ない内視鏡外科手術で地域医療に貢献していきたいと考えております。

2022年4月に大阪府がん診療拠点病院の指定を受けました。がん診療にも今まで以上に注力していきます。これからもより一層北摂地方の救急・がん医療に貢献できるよう邁進していく所存ですので、ご指導ご鞭撻のほどよろしく申し上げます。



## 内視鏡センター



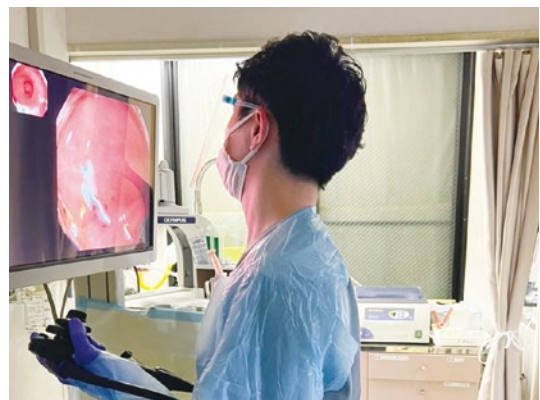
◎質が高く最新の内視鏡医療を提供する

◎24時間緊急内視鏡対応が可能

平素より地域の先生方には大変お世話になっております。当院は、日本消化器病学会認定施設、日本消化器内視鏡学会指導施設、日本消化管学会指導施設、日本カプセル内視鏡学会指導施設の施設認定を受け、消化器内視鏡技師の資格を持った検査技師や看護師により、高度で質の高い内視鏡医療を行うことを心がけています。また、消化管救急疾患に対する緊急内視鏡処置についても常時対応可能な態勢をとっており24時間対応可能です。

また、消化管早期がんに対して行われている低侵襲な治療である内視鏡的粘膜下層剥離術(Endoscopic submucosal dissection: ESD)や、消化器内科と内視鏡外科の高度な協調治療 LECS (Laparoscopy and Endoscopy Cooperative Surgery)も積極的に行っています。

今までは胃全摘していたような病変も胃が残るかもしれません。当院消化器内科に是非ご相談いただければと考えております。よろしく申し上げます。





## ◎潜在患者さまの多い骨盤臓器脱や女性の尿失禁に特化したセンター

## ◎多くの治療オプションを持ったエキスパートによる診療

平素より地域の先生方には大変お世話になり、ありがとうございます。

女性泌尿器科ウロギネコロジーセンターは2015年3月に骨盤臓器脱、女性の尿失禁など女性の骨盤底の障害を中心に治療する診療科として開設されました。

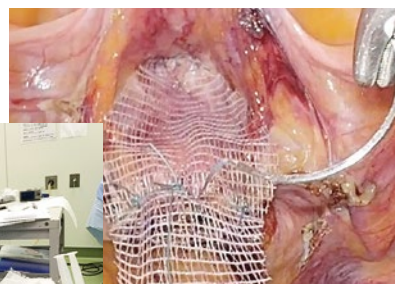
この領域を専門的に診療する診療科は近畿一円にも見当たらず、開設当初から近畿のみならず、北海道から沖縄まで、全国から患者さまが来られています。

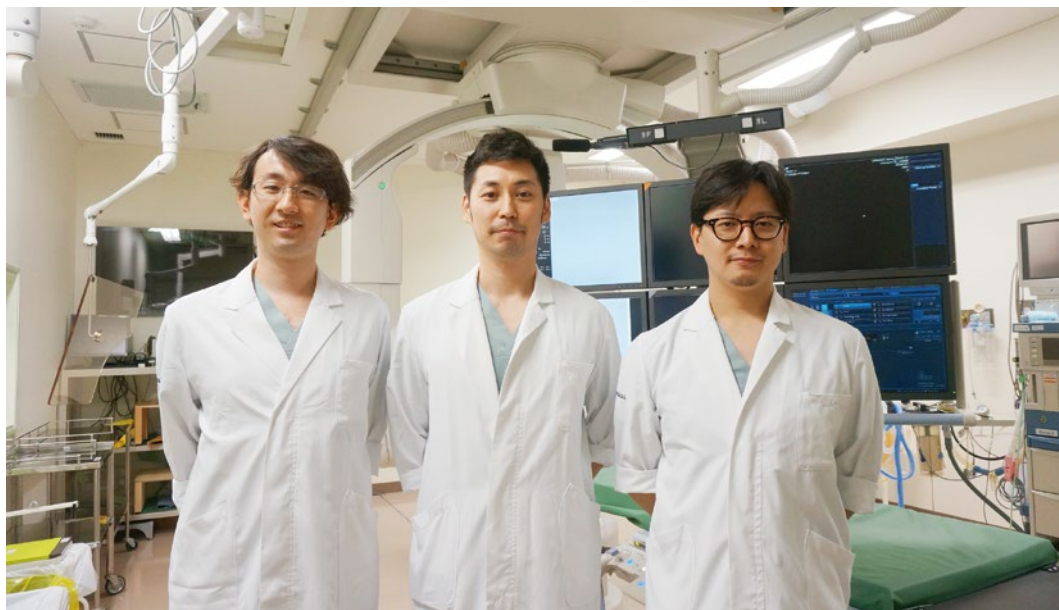
センター長の竹山と婦人科部長加藤、泌尿器科鎌田の3名で始めた診療ですが婦人科医 柏原、泌尿器科医 渡邊が加わり、現在5名で診療にあたっています。

骨盤臓器脱に対しては腹腔鏡下仙骨脛固定術(LSC)、経膈メッシュ手術(TVM)、メッシュを用いない手術(NTR)を患者さまの病態に合わせて施行しています。

腹圧性尿失禁に対しては中部尿道をテープで保持するTVT手術を多数実施しています。また予防や軽度の症例に対しては骨盤底筋訓練を指導する専門外来を開いています。難治性過活動膀胱に対するボトックス治療や仙骨神経刺激療法も行っています。

今後ともよろしくお願い申し上げます。





## 誰にでも分かりやすく、優しい医療

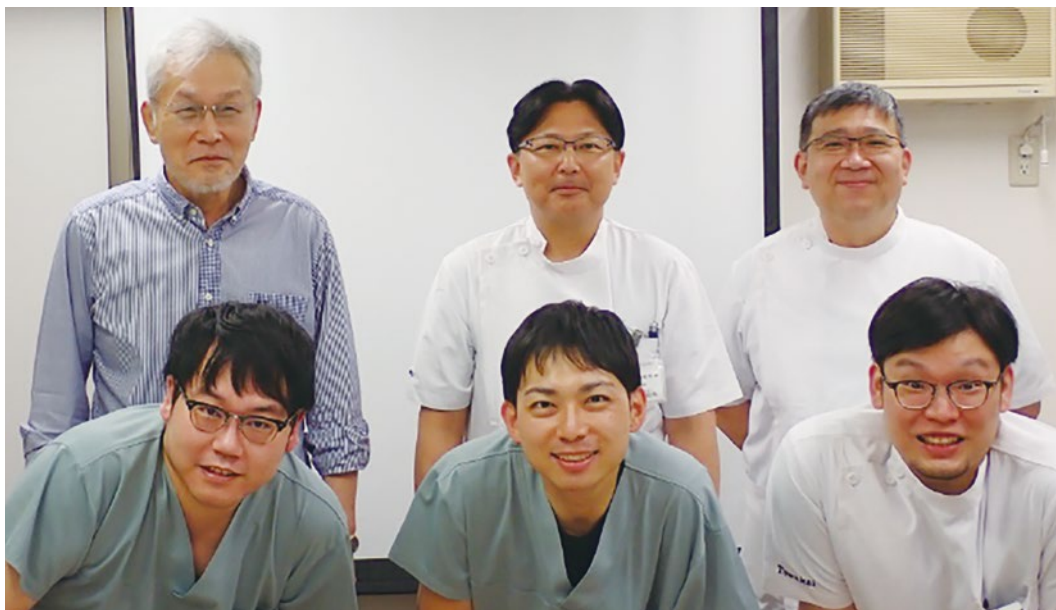
当科は、脳卒中(脳梗塞、脳内出血、くも膜下出血)診療に特に力を入れております。2018年に脳卒中ホットラインを開設し、2019年に日本脳卒中学会より一次脳卒中センターに認定されました。

脳梗塞に対する tPA 静注療法・血栓回収療法、脳出血に対する神経内視鏡下血腫除去術・開頭血腫除去術、くも膜下出血に対する脳血管内コイル塞栓術・開頭クリッピング術が24時間365日対応可能で、脳神経外科専門医・脳血管内治療専門医・神経内視鏡技術認定医といった専門資格を有した医師が責任をもって治療にあたっています。

中でも血栓回収療法は、北摂地域でトップクラスの手術件数(2020年25件、2021年34件)を実施しています。また神経内視鏡下血腫除去術は、3cm程の皮膚切開で、500円玉程の小さな開頭より内視鏡を挿入し血腫除去を行う低侵襲手術です。ご高齢者が多い脳卒中において身体的負担を減らせる点で有用です。2020年より機能的神経疾患である「顔面けいれん」「三叉神経痛」に対する手術加療も受け入れております。

「誰にでも分かりやすく、優しい医療」をモットーに、患者さまに信頼される医療を提供します。





## 北摂の膝を守る

整形外科の常勤医は現在 6 名ですべて大阪医科薬科大学整形外科学教室からの派遣です。当院と大阪医科薬科大学整形外科学教室との関わりですが、常勤医の派遣が始まったのは 1990 年(平成 2 年)7 月からで当時は常勤 2 名体制であったようです。

当初は骨折などの外傷を中心に治療を行っていましたが、膝肩関節の治療を集約的に行える特化型の病院をめざし、また「北摂の膝を守る」をモットーに 2014 年 7 月に膝スポーツ関節鏡センターを開設しました。

整形外科の手術件数は徐々に増加し、年間 1200 件前後です。手術の内訳は半分が骨折などの外傷、半分が変形性膝関節症などの疾患です。当院の特徴は、前十字靭帯再建術などの膝スポーツ障害、変形性膝関節症に対する高位脛骨骨切り術、肩関節鏡視下手術の症例が近隣病院と比較が多いということです。さらに水曜日には外反母趾などに代表される足専門外来を、木曜日には脊椎専門外来を行っており、手の特殊な症例を除き整形外科疾患のほぼすべてを当院で行うことが可能となっています。

理学療法士とともに月 1 回の膝の勉強会や肩の勉強会を行い、質の高い医療を提供できるよう努力しております。



最後になりましたが、今後も病院の発展に少しでも寄与できるように努力していく所存です。今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。



## 生活の質の向上を目指して

2014年からペインクリニック外来を開設いたしました。

現在、火曜日と木曜日の午前中に日本ペインクリニック学会専門医による外来診療を行っております。各種の慢性疼痛疾患に対して、痛みの原因を特定し薬物治療や神経ブロック療法を行うことにより疼痛の軽減と患者さまのADLの向上を目指しております。

近年、超音波機器の小型化、画像の鮮明化により神経の描出が容易になり、多くの神経ブロックはエコーガイド下に安全かつ迅速に行うことが可能となりました。具体的な疾患としては帯状疱疹後神経痛、三叉神経痛、坐骨神経痛、慢性腰痛、手術や外傷後の痛みなどがあります。その他、顔面痙攣や腋窩多汗症に対してボツリヌス毒素療法も行っております。また、第一東和会病院は2022年に大阪府がん診療拠点病院に認可されました。

今後、手術などの侵襲的治療、化学療法に加えて緩和ケアも充実させ、患者さまのADLの向上に貢献していきたいと考えています。



## 循環器内科

### ◎新しい知見 ガイドラインに沿った診療・治療の実施

### ◎疾患の発症予防・診断・治療・救急医療の領域で、各科診療科や検査部門と密に連携し、地域の患者さま、先生方のニーズにこたえ、地域医療に貢献する

当科は、大阪医科薬科大学病院循環器内科の研修関連施設で、循環器内科専門医が在籍しており、常勤医3名 大学病院などからの非常勤医4名で、循環器内科全般の診療を行っております。心臓カテーテル検査・治療や外科的治療など高度かつ専門的な精査・治療の適応を判断し、必要な疾患に対しては、大学病院などと密に連携し、治療にあたっています。

高齢化に伴い、心不全患者の増加など、当科の役割はますます重要になってきています。今後も、患者さま、一人ひとりに向き合い、最も適切な医療を提供していくことを心がけ、よりいっそう日々精進してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

## 糖尿病内科

糖尿病専門医、糖尿病認定看護師、薬剤師、栄養士、理学療法士などチームで患者さまのケアに努めております。糖尿病の治療薬や機器の進歩は目覚ましいですが、患者さまお一人ごとの背景を知り、楽しく健康な生活を送って頂けるようにサポートさせて頂くことを心がけて診療にあたっております。

専門外来を中心に、10日間の糖尿病教育入院、短期間の合併症評価・食事療法見直し目的の入院も行っております。治療が必要な合併症がみとめられた場合は速やかに他科と連携し対応可能な点も総合病院の強みと考えます。今後の展望として、糖尿病療養指導士の育成などをはかり、さらにチーム力を上げ、患者さまの健康寿命延伸や QOL 向上のお手伝いが出来れば幸いです。

## 小児科

現在当院小児科は外来・予防接種業務を行っております。一般的な小児科診療に加え、自己免疫疾患・自己炎症性疾患及びアレルギー疾患に関しては専門的な診療をしています。

また、新型コロナウイルス感染症が存在する時代となり、小児科の感染症診療も様変わりしたと存じます。当科では可能な限り感染対策を行いながら、感染症患児の診察及び新型コロナウイルスの各種検査を行っております。今後も地域で果たすことのできる役割を考えながら、社会情勢にあわせた診療体制を臨機応変に整備してまいります。

小児科領域でお困りの症例がございましたら、当院へご紹介いただければ幸いです。

## 婦人科

婦人科は常勤医が3名でそのうちの1名は日本産科婦人科内視鏡学会の技術認定医です。その他に非常勤で大阪医科薬科大学より3名来ていただいています。外来では思春期や更年期の治療、漢方診療、外来子宮鏡などを行っており、検診センターでの婦人科検診も行っています。

手術は子宮や付属器の良性腫瘍や不妊症例の内視鏡手術を中心に行って、最近では子宮鏡手術にも力を入れています。今後も低侵襲手術を提供できるよう精進していきたくと思っています。

## 泌尿器科

当科は膀胱癌に対するTURBTをはじめ、泌尿器悪性腫瘍に対して積極的に加療を行っております。肉眼的血尿に対しても積極的に膀胱鏡検査を施行し悪性腫瘍の有無を精査しております。それに加え、2021年から尿路結石に対するレーザー治療も開始しております。

当科は腎不全も診ており、血液透析が必要な方に内シャント造設術を行ったり、シャント狭窄に対するPTAを施行したり幅広い疾患・治療を行っております。

## 放射線科

放射線科は放射線画像診断専門医2名(2022年11月から常勤医3名)、診療放射線技師19名で画像撮像、読影・診断を行っております。

2021年度は320列CT、80列CT2台でCT/20,594件、1.5Tと3TMRI2台でMR/9,924件の症例の画像読影・診断を施行しました。この内近隣医療施設からご紹介いただいた件数がそれぞれCT/1,147件とMRI/1,948件となっています。

この地域の中核病院として、近隣医療施設の皆さまに高度医療機器を共有して頂き、わかりやすく丁寧な画像診断報告書を提供できるよう努力して参ります。今後とも宜しくお願い致します。

## 精神科

当科外来ではもの忘れ専門外来としてその診断・治療を行っております。具体的には改訂長谷川式簡易知能評価スケールによるスクリーニングや詳細な問診をまず行い、認知症が疑われた場合に頭部MRI、脳波検査、血液検査を施行します。

その後、それらの検査結果をもとに認知症の鑑別診断を行い、必要に応じてアセチルコリンエステラーゼ阻害薬等を用いた薬物療法、介護保険の利用や地域包括支援センターとの連携等支援体制の整備を行っております。

## 眼科

糖尿病網膜症・腎性網膜症・ぶどう膜炎など、目の病気は全身疾患と深く関わりがあります。当科では総合病院という強みを生かし他科との連携を密に行い、隠れた病の早期発見・早期治療にも努めております。

新型コロナウイルスが国内で感染確認されてから3年がたち、平時に近い社会活動が可能になるにつれ、手術件数もコロナ以前に近い件数まで戻ってまいりました。これからも私たちは常に患者さまの立場に立ち、どなたにも安心して受診いただける医療を目指して参ります。

## 耳鼻咽喉科

近年、耳鼻咽喉科の常勤医の在籍する病院が減少し、耳鼻咽喉科で入院のできる当院の重要性は高くなってきております。そのため当科では入院治療や精密検査を必要とするような耳鼻咽喉科領域の急性期疾患の紹介を積極的に受け入れるよう対応し、また大学病院で対応困難な症例の受け入れなども行っております。外来においては、CT、MRI、エコー細胞診など精密な検査を行い、迅速で精度の高い医療を提供しております。引き続き、患者さまのニーズに応じた診断・治療を提供できるよう努めて参ります。

## 皮膚科

当科では湿疹、水虫、ニキビ、蕁麻疹、アトピー性皮膚炎等の一般的な皮膚疾患から、美容のトラブル、帯状疱疹ワクチン接種まで全て対応しております。必要に応じて当院他科や関連病院と連携を取りながら診療を行います。

また、シミのレーザー治療や巻き爪のワイヤー治療などの自費診療をご希望の場合は東和会クリニックへのご案内もしています。

皮膚疾患でお悩みがありましたらいつでもご来院いただけますと幸いです。

## 歯科口腔外科

歯科口腔外科は2020年7月に新規設立し、歯科医師の橋口範弘が着任致しました。現在は、歯科医師3名(うち2名は非常勤)、衛生士5名(うち3名は非常勤)で運営しております。

当科は、訪問歯科をはじめ、当院で手術を受ける患者さまの術前・術後の口腔ケア、入院中の患者さまの口腔ケアを主に行っております。また、地域の医院・歯科医院の先生方と連携を図りながら、紹介患者さまの口腔領域の良性疾患および顎関節症などの診断・治療および、基礎疾患を有する患者さまの外来での小外科手術(抜歯など)に対応しております。



## 各部署の紹介

## 看護部



### 職員一同、共に学び共に成長しながら、患者さまに 安全でやさしい看護を提供することを目指して

日頃より東和会病院の医療活動に、多大なご理解とご協力をいただき誠に感謝申し上げます。

当院の看護部の理念は、「患者さまやご家族さまの立場に立ち、明るく親切で信頼される質の高い看護を目指す」ことです。看護部の理念のもと、地域の皆さまの健康増進と治療に寄与できるように、東和会病院は、24時間365日急性期から在宅医療まで幅広い看護を実践しております。

40周年を迎える今年度は、特定行為研修指定医療機関の認定も得て、特定行為看護師の育成もおこなっております。今後もますます研鑽し、地域の皆さまに信頼されるよう努力してまいります。





## 看護師特定行為指定研修事業



団塊の世代が75歳以上となる2025年、また65歳以上の老年人口がピークを迎える2040年には、世界に例のない超高齢社会を迎えます。それに伴い、医療や介護の需要が増大することが社会問題となっています。医療需要増加の半面、医師不足が深刻な社会問題となっており、医師不足に関連する諸問題に対応するため、医師の業務負担軽減と質の高い医療、看護の提供が維持できるよう環境を整える必要があります。

第一東和会病院は、2022年2月に特定行為研修指定研修機関の指定を受けました。本年度は6名の受講生を迎え、医師の協力体制の下、研修を開始しております。

特定行為研修を修了した看護師を育成することは、看護の視点のみならず医学の視点から患者さまの疾患・症状を理解した看護ケアを提供することができ、また医師の業務負担軽減にも寄与できると考えます。

地域の急性期医療を支える基幹病院として、専門性の高い看護師の育成を通じて地域医療に貢献してまいります。



## One for all , All for one

～一人は全員のために、全員は一つの目標のために～

薬剤部では、急性期病院における薬剤師として、調剤・服薬管理指導・抗癌剤無菌調製等を行っています。全病棟に薬剤師を配置し、医師・看護師や他職種スタッフと情報交換を密に行い、何事にも果敢に取り組み、患者さまに最善の医療を提供できるよう努めています。

また、薬の専門性を活かし持参薬の鑑別・処方提案を実施し、医師のタスク・シフト／シェアを推進しています。全ての薬剤師が全業務に携わることが出来るジェネラリストとして活動しています。さらに、専門性を磨き、感染制御、化学療法、緩和ケア、褥瘡対策、栄養サポート等、各種チーム医療へ参画し、薬学のエキスパート職として活躍しています。

当院の理念である『愛と和』の精神を大切に医師・看護師や他職種スタッフと共に、患者さまに寄り添う医療の提供を目指しています。



# 診療技術部



放射線科



臨床工学科



栄養科



臨床検査科

東和会創立40周年を迎えまして地域の皆さまに支えられてきた病院として、また救急医療を軸に診療技術部として貢献して来られたことをあらためて感謝申し上げます。

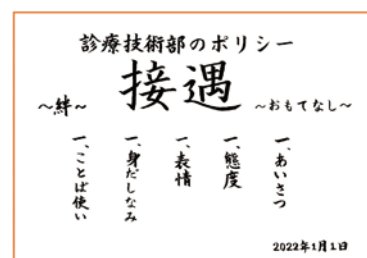
診療技術部は2017年10月に4部門(放射線科、臨床検査科、臨床工学科、栄養科)で発足し、2020年に歯科口腔外科部門の歯科衛生士を加え現在総勢58名の部門となりました。

それぞれが技術を磨きながら多様な価値観を共有し、病院理念と部門全体の絆を大切に組織力の強化、患者ファースト、医療の安心安全に取り組んでまいりました。

また今年度より、診療技術部一体化のポリシーとして「接遇」を共通認識に掲げ、地域医療サービスと患者さまへの接遇の強化を目指し、より一層の満足度を向上させるため知識と技術、サービスを提供してまいります。

今後とも診療技術部に係るMRI・CT・超音波・骨密度・透析・歯科等、様々な医療検査機器をご利用いただくとともに、患者紹介および病院連携強化のほど宜しくお願い申し上げます。

40th



Anniversary



MRI室



透析室



生化学室



厨房



臨床工学



栄養科

## リハビリテーション部



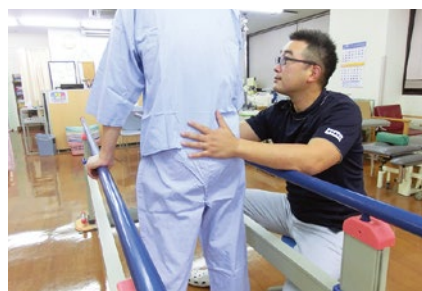
### 笑顔・元気・おもいやり

スタッフは理学療法士 26 名、作業療法士 6 名、言語聴覚士 3 名、音楽療法士 1 名、事務(受付)1 名、医師事務作業補助者 1 名の 38 名体制でリハビリテーションを提供しています。

当院では膝スポーツ関節鏡センター、女性泌尿器・ウロギネコロジーセンター、脳卒中センター等の専門医師と密に連携した各種チーム(肩・肘関節班、膝関節班、骨盤底リハ班、脳血管リハ班)を設置して、専門的な知識と技術に基づいたリハビリテーションを提供しています。また、それぞれの分野に特化した最新の知識、技術の習得、地域社会への発信(地域支援や学会発表)にも力を入れており、近年では他府県の遠方から当院のリハビリテーションを目的に来院される患者さまも少なくありません。

入院では 365 日の継続したリハビリテーションを提供しており、急性期疾患の治療を優先しながらも十分なリスク管理のもと、発症日、あるいは発症後数日以内にリハビリテーションが開始できるシステムを構築しています。さらに、各病棟に理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、音楽療法士を配置し、多職種(医師、看護師、ソーシャルワーカー等)と連携を図り、早期離床や在宅復帰を目指したリハビリテーションを提供しています。外来部門では入院時のリハビリテーションに続き、スムーズな日常生活活動への復帰、社会参加活動・競技復帰が安定して行えるようそれぞれの問題点に対して担当予約制でオーダーメイドのリハビリテーションを実施しています。

東和会グループでは急性期から生活維持期までのリハビリテーションがシームレスに提供できるようグループ内各施設への人員配置を行い、各期でのリハビリテーションを積極的に展開しています。



# 健診センター



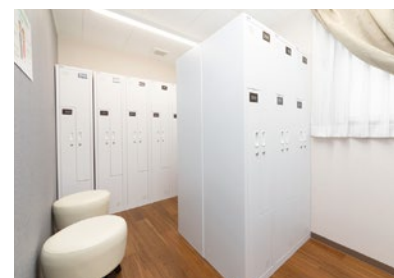
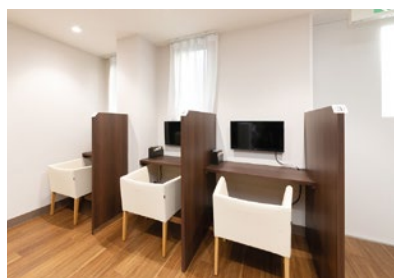
## ～より良い健診を目指して～

健診センターは2016年のオープンからはや6年が経過しました。人間ドック・企業健診など各種健診のいずれも受診者数は飛躍的に増加しています。昨年には女性専用フロア(2階)と内視鏡フロア(1階)を増改築しました。

女性専用フロアでは、女性技師、女性医師が対応し乳がん・子宮がん検診といった検査を行うのにふさわしい快適な空間をご用意しています。内視鏡検査は痛みや苦痛をやわらげるための検査前麻酔を行い、目覚めるまでのお休みのスペースも設けリラックスできる環境での検査を心がけています。

当健診センターは320列CTや3.0テスラMRIなど最新機器を駆使し、今年度から新たな健診ソフトを導入することで一層質の高い健診を目指すことが出来るようになりました。スタッフ一同が協力して病気の早期発見と健康サポートに全力をあげています。

「ひとりでも多くの皆さまに健康を」をスローガンに受診者さまのお越しを心からお待ちしています。



## 事務部



事務部は、医事課・総務課・情報システム課・用度課で構成されます。

医事課の主な業務は「応対業務」と「保険請求業務」です。「応対業務」では患者さまと診療部門を結びつける大切な役割を担っています。「保険請求業務」はスピードと正確性が求められるため、研修や勉強会を行い知識の向上を図っています。

2000年再来受付機、2007年電子カルテ導入による診療計算の効率化、2013年自動精算機、2022年オンライン資格確認システムを導入しました。2021年には発熱外来専用の受付を設置し、多くの患者さまを受け入れる体制を整えました。

今後も医療環境の変化や複雑化する保険制度、診療報酬改定などに対応していくため、院内各部署のみならず地域の医療機関とも連携体制を築き一助となれるよう努力していきます。

総務課は、人事労務、経理、施設管理、経営企画、庶務から構成されています。病院は専門職の集合です。各部門が専門性を最大限に発揮しかつ合理的で円滑に業務が進められる様に全職員をサポートする部門だと考えます。病院のソフト面からハード面まで業務は多種多様で、患者さまと職員そして職員同士を繋ぐ懸け橋となり、縁の下の力持ちとして病院経営を支えるとてもやりがいのある職場です。

情報システム課では、「安心安全使いやすいシステム構築と、頼りになる」をモットーとしています。全てのパソコンやネットワークの保守・管理にとどまらず、医師や看護師、すべての職員からの待ったなしの依頼にも迅速に快く応えられるように心がけています。また、「医療DX令和ビジョン2030」の実現に向けて、RPAの導入やオンライン診療の導入も行い、今後もさらなるDX推進に向けて、当課の役割は重要であると考えます。

用度課は、主に病院運営に必要な医療材料や医療機器の調達と院内の物流管理を行う部署になります。当院は二次救急病院であり数多くの緊急手術が行われ、用度課の能力が問われます。手術室・医師とよくコミュニケーションをとり意志疎通を図り、気づき・気づき・気づきの3つの「き」を大切に行動しています。



## 医師事務支援室

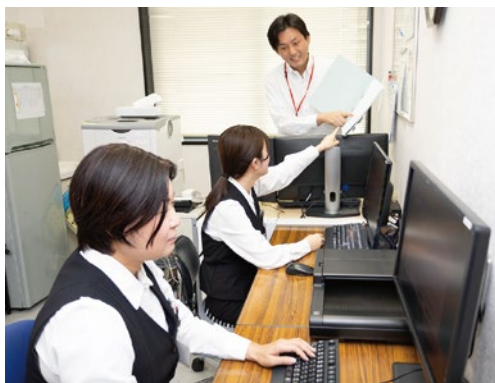


医師事務作業補助の業務は、医師の過重労働が深刻化した2000年頃より「医師の事務作業の負担軽減」の取り組みとして始まりました。当院では2013年10月に医師事務支援室が発足し、当初は4名でしたが現在は23名の大所帯で医師を支えています。

2024年には医師の労働時間の上限が規制されます。それに向け当院でも看護師や薬剤師・臨床工学技士など様々なコメディカルスタッフと共にタスクシフトを急速に進めています。医師をサポートすることで、地域に根差す急性期病院の機能を最大限発揮でき、医療の質の向上、患者満足度のアップなどにも貢献できると考えています。

今後、医師事務作業補助者の業務はさらなる拡大が予測され、専門性の高い医師事務作業補助者を育成する必要がある「医師事務作業補助者」の資格取得や、他職種を交えた勉強会などを積極的に支援してまいります。

## 診療情報管理室



2007年電子カルテ導入、さらに2009年DPC対象病院承認により、診療情報管理室の業務は紙カルテによる「モノの管理」から「情報の管理・活用」へと大きく変化しました。

第一東和会病院は、急性期病院として手術・処置・検査など多岐にわたる診療を日々実施しています。これらの日々の診療情報を基に臨床指標を作成・評価分析し、多職種協働で改善活動を行い、病院全体として医療の質向上に取り組んでいます。

今後も、質の高い医療の提供に貢献すべく、適切な診療情報の管理・活用に努めます。

## CS推進部 CS室



患者さまのご意見を大切にし、きめ細やかなサービスが提供できるよう、2018年にCS推進部CS室を発足しました。CSとはCustomer Satisfaction(顧客満足)の略語で、患者さま・ご家族さまと真摯に向き合い、医療者との間をつなぎコミュニケーションの橋渡しをする役割を担っています。日々承る問合せやご意見は多岐にわたるため、他部署との密な連携、相互協力を大切にしています。

また、職員の接遇・人間力を上げるための研修を行うなど、第一東和会病院の全スタッフが『病院の質向上』を目指して強い思いを持ち、自分で考え行動できるようサポートしています。

何世代にも渡り愛される病院を目指し、小さな信頼が積み重なって大きな信頼に結びつく過程を支えてまいります。

## 施設概要

## 診療科目

内科 / 循環器内科 / 消化器内科 / 血液内科 / 糖尿病・内分泌内科  
 ペインクリニック内科 / 外科 / 消化器外科 / 整形外科 / 脳神経外科  
 乳腺外科 / 形成外科 / 救急科 / 小児科 / 婦人科 / 女性泌尿器科 / 泌尿器科  
 眼科 / 耳鼻いんこう科 / 皮膚科 / リハビリテーション科 / 放射線科  
 麻酔科 / 精神科 / 歯科口腔外科 / 呼吸器内科 / 呼吸器外科  
 特殊外来（神経内科・肝胆膵内科・リウマチ膠原病内科・腫瘍内科・物忘れ外来・脳血管専門外来・胆石外来・ヘルニア外来・肛門外来・禁煙外来）

## 病床数

243 床

## その他

- ・地域医療支援病院
- ・大阪府がん診療拠点病院
- ・病院機能評価 一般病院 2 3rdG:Ver.2.0 認定
- ・臨床研修指定病院
- ・(救急指定) 二次救急指定病院

## 実習指定病院

臨床工学技士実習指定病院 / 臨床検査技師実習指定病院 / 看護学校指定病院  
 / 薬学生実務実習受入施設 / 理学療法士養成校実習指定病院 /  
 作業療法士養成校実習指定病院 / 言語聴覚士養成校実習指定病院

## 学会認定施設

日本消化器内視鏡学会 専門医認定制度 指導施設 / 日本消化管学会 専門医認定制度 胃腸科指導施設 / 日本消化器病学会 専門医認定制度 認定施設 / 日本カプセル内視鏡学会 専門医認定制度 指導施設 / 日本循環器学会 専門医認定制度 研修関連施設 / 日本静脈経腸栄養学会 NST(栄養サポートチーム) 稼働施設 / 日本脳卒中学会 専門医認定制度 研修教育病院 / 日本脳神経外科学会 専門医認定制度 連携施設 / 一次脳卒中センター (PSC) / 日本外科学会 専門医認定制度 修練施設証 / 日本消化器外科学会 専門医認定制度 修練施設証 / 日本胆道学会 専門医認定制度 指導施設 / 日本乳がん健診精度管理中央機構 マンモグラフィ 検診施設画像認定 / 日本泌尿器科学会 専門医認定制度 教育施設 / 日本整形外科学会 専門医認定制度 研修施設 / 日本麻酔科学会 麻酔科認定病院 / 日本麻酔科学会 (麻酔科標榜のための研修施設) / 日本ペインクリニック学会 専門医 指定研修施設 / 日本眼科学会 専門医認定制度 研修施設 / 日本産婦人科内視鏡学会 専門医 認定研修施設 / 日本腹部救急医学会認定施設



## 各委員会の紹介

## 医療安全対策委員会

私たちの働く医療現場は医療安全リスクの非常に高い職場環境と言えます。医療安全対策室は医療事故を未然に防ぎ、患者さま並びに医療従事者に対して安全・安心な医療を提供できる環境を整えるように活動しています。

- ◎インシデント・アクシデント報告の対応 / 集計分析
- ◎医療安全ラウンド
- ◎医療安全カンファレンス
- ◎研修会の企画実施
- ◎医療安全対策委員会の運営
- ◎他部署との連携

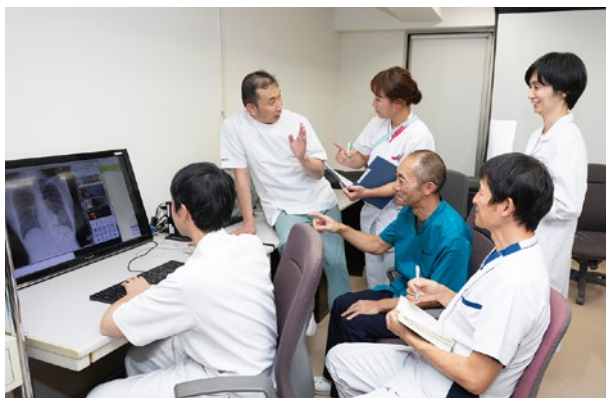
これらの活動を通して、院内の安全に対する意識を高めて、患者さまの安全、スタッフの安全、病院の安全を追求し日々活動しています。



## 感染対策委員会

従前、感染防止対策は医療安全の一環と捉えられてきましたが、新興感染症(新型インフルエンザなど)や薬剤耐性菌の感染防止に向け、医療安全とは別の対策が必要であり、2012年度の診療報酬改定で感染防止対策加算が新設されました。当院は感染防止対策加算Ⅱを算定し、北摂地域の病院と共に地域全体で感染を防止する取り組みに参加しました。2016年から感染防止対策加算Ⅰを算定し、北摂地域の中で感染対策の指導や相談を受ける役割を担うようになりました。

2020年から新型コロナウイルス感染症の流行により医療体制が混乱する中、いち早く帰国者・接触者外来を設置しコロナ患者の診療を開始しました。入院や往診体制も整備し地域の救急医療の安定に貢献しています。



薬剤耐性菌や新型コロナウイルス感染症の出口戦略など、感染対策の課題は多く険しい道のりですが、連携病院やクリニックの皆さまと協力して感染制御に取り組んで参ります。

## NST（栄養サポートチーム）委員会

NST 委員会は患者さまの栄養状態の改善・治療効果の向上・合併症の予防・QOL（生活の質）の向上などを活動目的としています。構成メンバーは栄養管理に係る専門知識を有した医師、看護師、薬剤師、栄養管理士、言語聴覚士、医療ソーシャルワーカーであり、提案内容を実施するために各病棟のリンクナースと共に活動しています。

NST 委員会では栄養評価スクリーニングにより抽出された栄養状態に問題のある患者さまに対してカンファレンスとベッドサイド回診を実施しています。コロナ禍ではベッドサイド回診は控え、カルテ回診を施行しております。

入院患者さまの現状を把握し嗜好調査を行うことで、栄養の改善につながるよう様々な栄養療法を提案し治療支援を行っています。日々の回診以外では栄養状態の把握を行うための規則の統一や経腸栄養の手順書の作成等を実施しております。



## NST 専門療法士認定教育施設指定研修事業

2021 年度に一般社団法人日本臨床栄養代謝学会が認定する NST 専門療法士認定教育施設として認定されました。認定教育施設の認定資格取得には、総合病院に準じた施設であり NST 稼働認定施設であること、施設外部から臨床実地修練希望者の受け入れが可能であること、NST 認定医が NST スタッフとして勤務していることなどが条件としてあげられました。

第一弾の研修として2022年6月に院内看護師2名への研修を実施。研修には40時間以上の実地修練が必要であるため、NST スタッフがカリキュラムを組み、試行錯誤しながら実施に至りました。

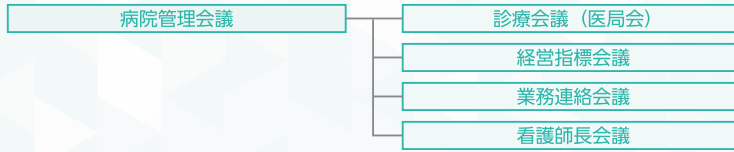
参加した看護師は戸惑った様子ではありましたが、日頃のチーム医療にかける私たちの思いに賛同してくれました。次回は2023年2月に外部からの受け入れをする予定です。NST の中心となって活躍する優秀な人材育成への貢献を目標にこの研修を続けて参ります。



# ORGANIZATION CHART

第一東和会病院会議・委員会組織図

## | 会議組織図

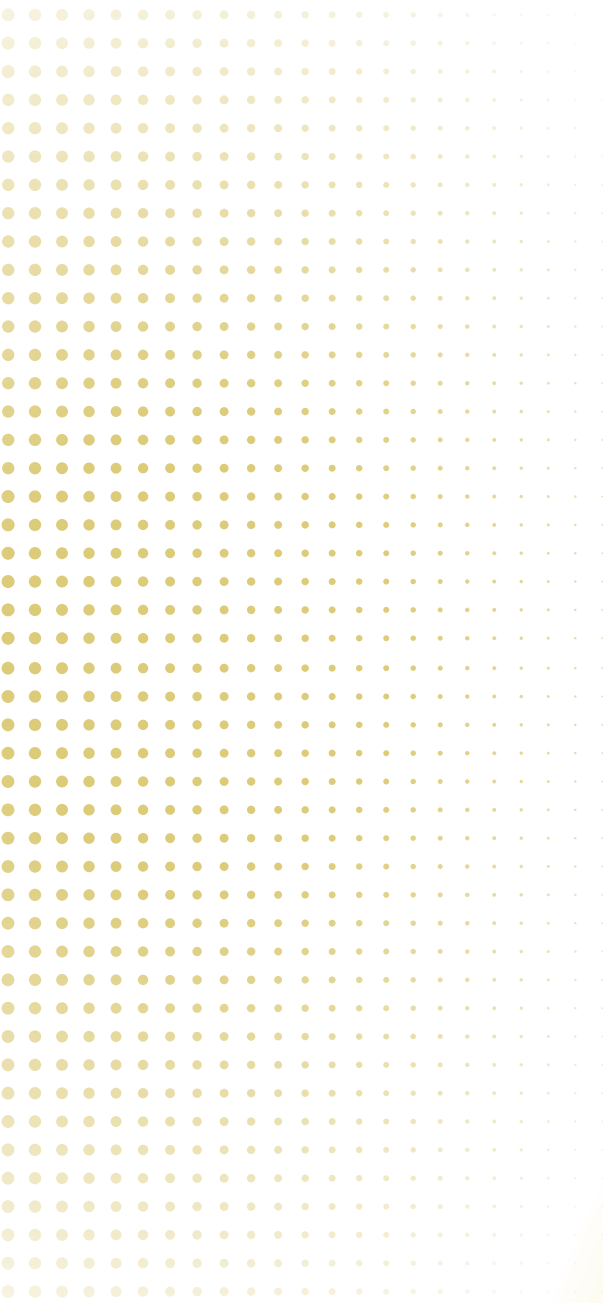


## | 委員会組織図



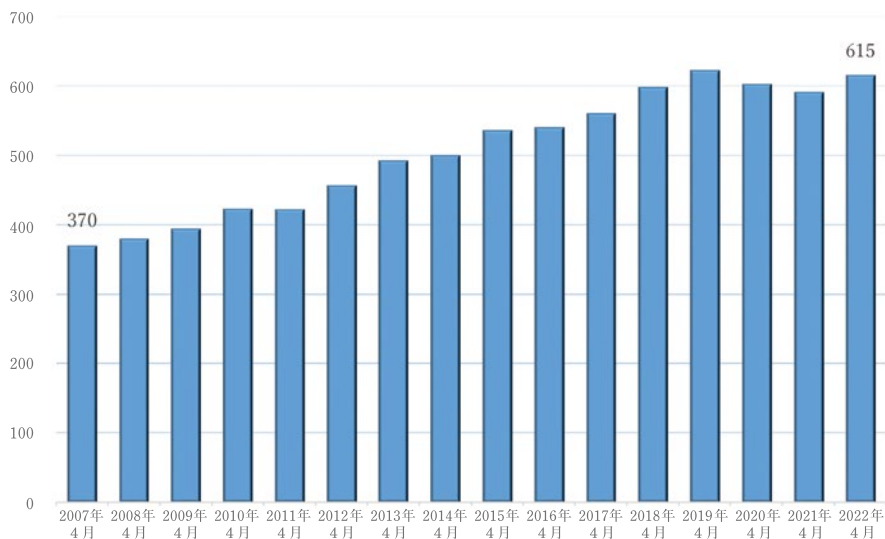


# 病院統計





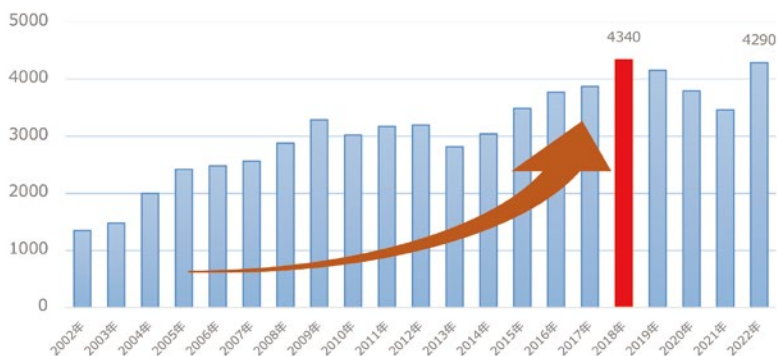
## 1.常勤職員数



### 第一東和会病院

- 2007年 厚生労働省協力型臨床研修病院 指定
- 2010年 HCU入院医療管理料 承認 (8床)
- 2012年 救急・手術棟 竣工
- 2013年 脳卒中センター 開設
- 2014年 膝スポーツ関節鏡センター 開設
- 2015年 ウロギネコロジーセンター 開設
- 2016年 健診センター 開設
- 2019年 地域医療支援病院 認定
- 2022年 大阪府がん診療拠点病院 認定

## 2.救急搬送件数



当院は365日 24時間体制で急患の患者さまに対応しています。

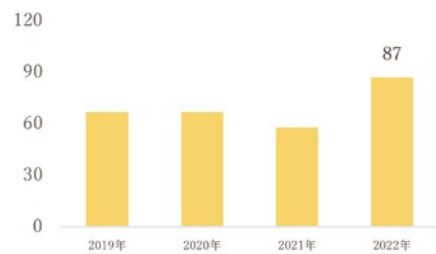
休日・夜間は常時医師2名体制で診療を行っています。緊急手術・緊急内視鏡治療や急性期の脳卒中に発症早期から対応できるようにオンコール体制で専門スタッフを招集し、緊急を要する患者さまの治療に取り組んでいます。救急・手術棟の竣工、効率的な連携のため救急外来とHCUを救急部として合併、救急専門医の招集など救急領域における医療体制の向上に努めています。



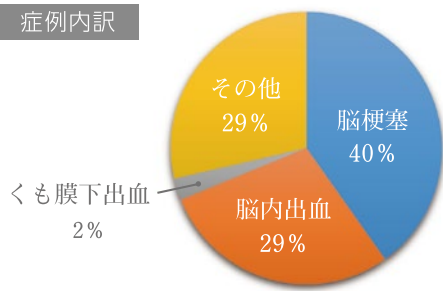
### 3.脳卒中ホットライン



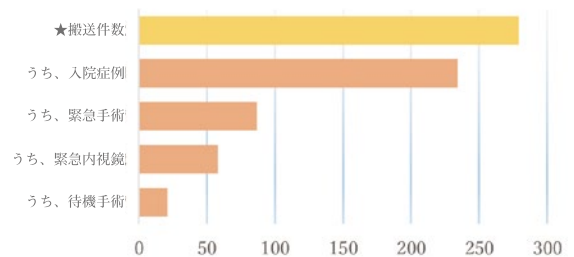
### 4.急性腹症ホットライン



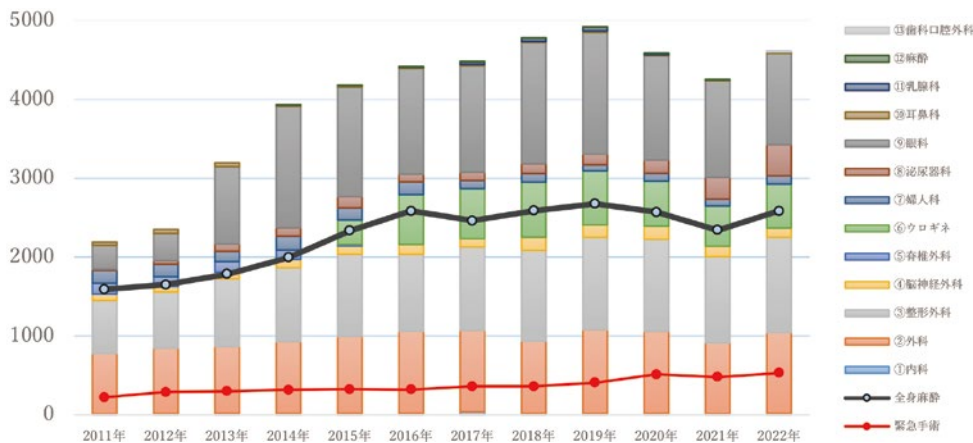
症例内訳



急性腹症ホットライン総計の再掲



### 5.手術件数・全身麻酔件数



年間手術  
**5000** 件超

全身麻酔  
**2500** 件超

緊急手術  
**500** 件超

当院は2012年に手術棟を竣工し、これまでの4室から6室の体制で手術室の運営を行っています。

2003年の内視鏡外科センター開設を皮切りに脳卒中、膝スポーツ関節鏡、ウロギネコロジーなどの新しいセンター機能を有する病院に成長し、手術件数も増加しています。2019年4月に現職の麻酔科医が院長に就任しました。現在、麻酔科常勤医5名、手術室看護師27名で年間5000件を越える手術に対応しています。地域の先生方にも当院の手術室を利用いただいておりますが、良質なサポートができるように麻酔科医、手術室看護師をはじめとした手術に関わる職員は技術の向上に研鑽を図り、地域のセンター機能を担う病院としてこれからも精進して参ります。

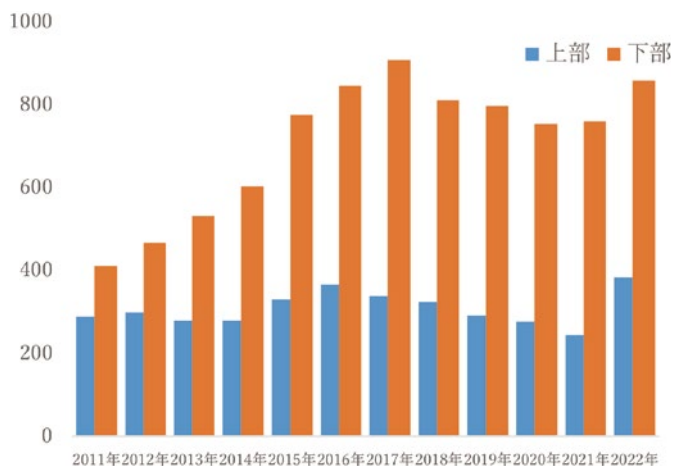


## 6.内視鏡室手術件数

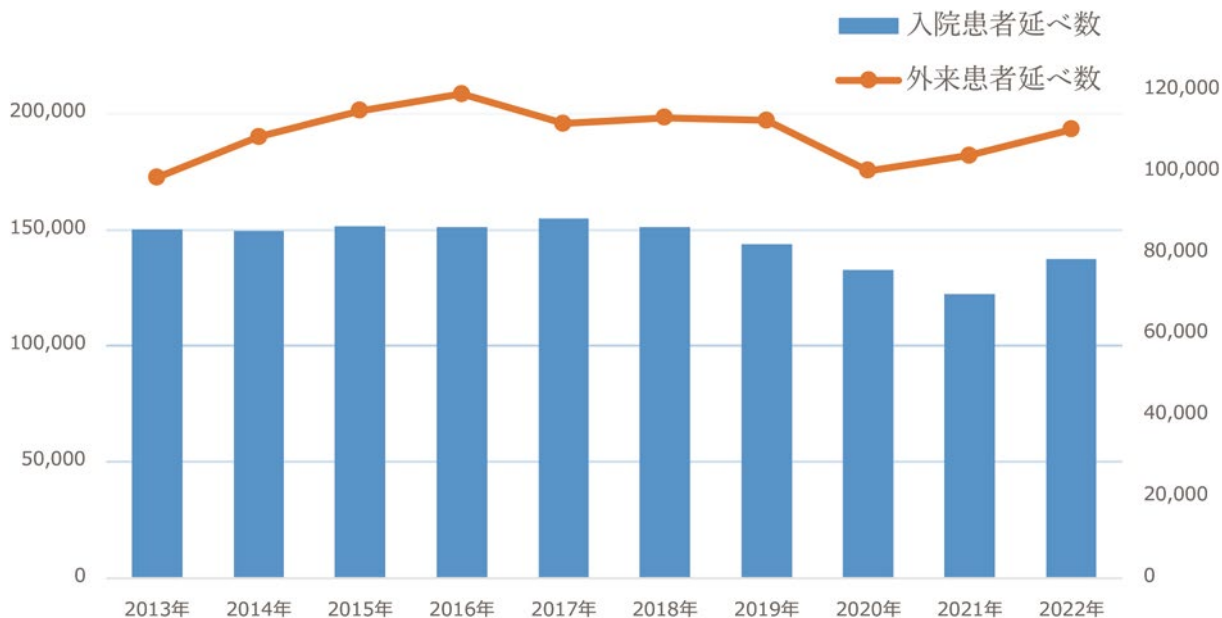
### 当院内視鏡センターの特色

- ・緊急内視鏡治療に24時間対応
- ・苦痛のない内視鏡治療（鎮静下を実施）
- ・ESD実施施設（食道・胃・十二指腸・大腸）
- ・カプセル内視鏡導入施設
- ・外科医との連携による合同手術（LECS：腹腔鏡・内視鏡併施手術）
- ・内視鏡室 3室稼働

上部手術 370 件超 | 下部手術 900 件超



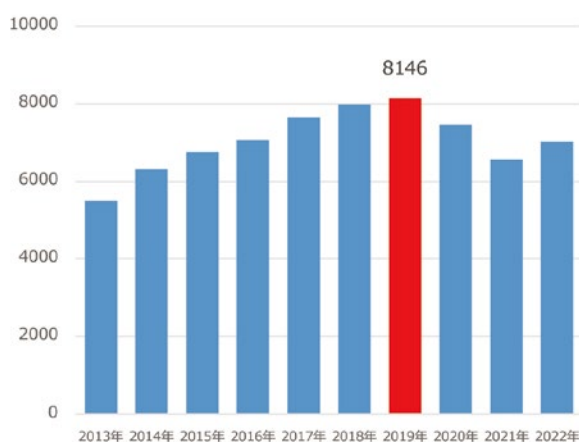
## 7.入院・外来患者延べ数



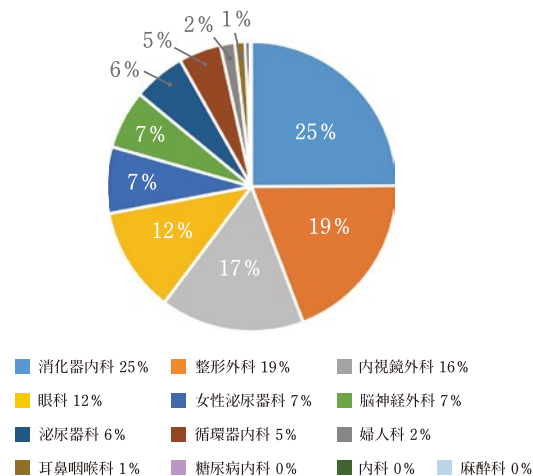
	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
外来患者延べ数	172,642	190,208	201,357	208,640	195,775	198,390	197,248	175,511	182,108	193,288
入院患者延べ数	85,838	85,533	86,725	86,537	88,595	86,559	82,292	75,988	69,958	78,576

## 8.新入院患者数

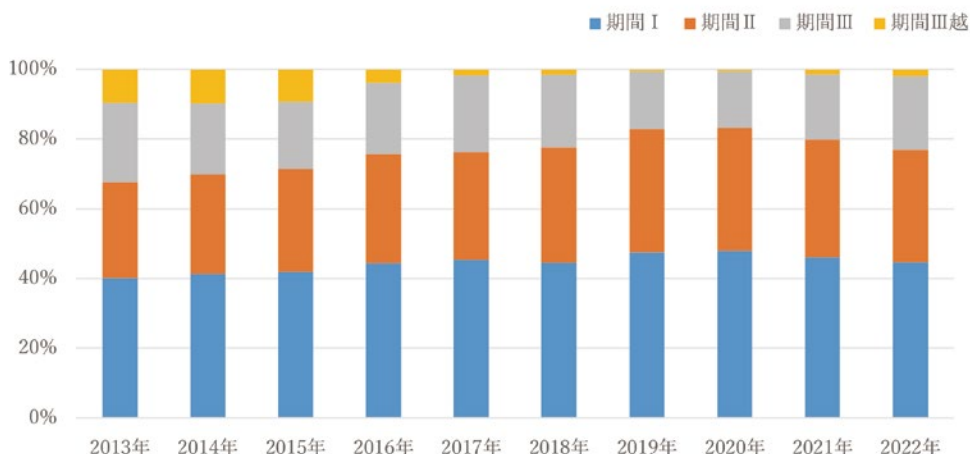
2019年度 過去最高 8000 件超 一日平均 22 件入院



診療科別入院比率 (2022年実績分)



## 9.DPC期間別患者比率



入院延べ日数	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
期間Ⅰ	33,878	34,737	35,804	38,288	39,987	38,928	38,797	36,279	32,102	34,518
期間Ⅱ	23,204	24,001	25,317	27,033	27,042	28,982	29,005	26,625	23,467	24,858
期間Ⅲ	19,136	16,957	16,389	17,583	19,338	18,245	13,598	12,331	13,059	16,389
期間Ⅲ越	8,117	8,251	7,890	3,386	1,583	1,350	394	331	975	1,524
期間Ⅱ越えの退院率	32.3%	30.0%	28.4%	24.3%	23.8%	22.4%	17.1%	16.8%	20.2%	23.2%

DPCとは国が定めた入院費の支払い制度のことで当院では2009年からこの計算方式を用いて入院費用を算出しています。

病名や診療内容に応じて細かく分類され、期間Ⅰ・Ⅱ・Ⅲと入院日数に応じて1日当たりの点数が設定されています。期間Ⅱの日数は全国の平均的な入院日数を基準に設定されています。当院ではこの基準を参考に期間Ⅱ以内の退院を目標に診療を行っています。これは計画的な診療を行い、急性期の病床を空けることで地域の緊急患者さまにいつでも対応することを目的としています。提供する入院医療の標準化に取り組み、地域の患者さまを安心してご紹介いただける病院となれるように努めます。



"愛"と"和"の精神で





地域医療と介護福祉を



"人"に優しい、最先端の



東和会グループは、高槻市・茨木市を拠点とし 38 ヶ所の事業所のある三島二次医療圏内で最大の事業所数を開設しているグループです。

## 医療法人 東和会

1. 第一東和会病院(地域医療支援病院・大阪府がん診療拠点病院・二次救急指定病院)

2. 第二東和会病院(地域包括ケア病棟・回復期リハビリテーション病棟)

3. 東和会いばらき病院

4. 東和会クリニック(美容外科・美容皮膚科)

5. 介護老人保健施設 サンガピア館(入所 100 名、デイケア 65 名)

6. 訪問看護ステーション東和会・訪問看護ステーションアイ

7. ケアプランセンターダイチ・ともいき・しまもと

8. 訪問リハビリテーション東和会

9. 訪問介護ヘルパーステーション東和会 ハート

## 社会福祉法人 恭生会

1. 総合介護福祉施設 和朗園

特別養護老人ホーム和朗園

ショートステイ和朗園

デイサービスセンター和朗園

グループホーム和朗園

ヘルパーステーション和朗園

和朗園ケアプランセンター

五領・上牧地域包括支援センター

軽費老人ホーム ケアハウス佑和

恭生クリニック

2. 在宅複合型老人介護施設 天兆園

ショートステイ天兆園

デイサービスセンター天兆園

ヘルパーステーション天兆園

在宅介護支援センター天兆園

アイケアプランセンター

茨木市地域包括支援センター天兆園

清溪・忍頂寺・山手台地域  
包括支援センター

3. 愛光認定こども園

4. 和光認定こども園

5. 放課後児童健全育成事業 和っはっは

## 株式会社 光真

1. 介護付き有料老人ホーム みやの楽々園

2. 企業主導型保育事業 みらい保育園

## 株式会社 TOWA

1. 住宅型有料老人ホーム レジデンス TOWA

2. デイサービスセンター島本

3. 訪問看護ステーション島本

## Human Future 株式会社

1. 就労継続支援 A 型事業所 ハーモニー

## その他

1. physical fitness TOWA

これら東和会グループ各事業所が入院から在宅生活まで、  
質の高い医療や介護・福祉サービスを  
切れ目なく提供し、地域の皆さまの在宅生活を高い次元で支えます。



## 東和会グループの紹介

## 第二東和会病院



### 医療法人東和会第一東和会病院 創立40周年に向けて



1982年に東和会病院（第一病院）が開設され、1990年に第二東和会病院（第二病院）が開設されました。1997年に医療法人東和会に法人名が変更されてから着実に東和会グループは発展し、今日、北摂、三島医療圏において最大の医療、介護、福祉、教育の病院、施設、事業所を有するグループに成長しました。





今日、第一病院は急性期病院として地域に密着した無くてはならない中核病院に成長しましたが、一方、第二病院は2004年から療養型病院93床として再編され、2006年には46床の回復期リハビリテーション病棟（回りハ）を、2015年には47床の地域包括ケア病棟（地域ケア）を開設し、現在は急性期治療後のリハビリを行い在宅、および施設に繋ぐポストアキュート、および在宅からの入院、加療、リハビリを行い再度在宅に繋ぐサブアキュートの患者さまを対象とする地域包括ケアシステムにおいて今日および将来において無くてはならない回復期の医療を担っております。

2021年度の診療実績は回りハ[入院元：第一病院 85%、他病院15%、退院先：在宅93.1%]、地域ケア[入院元：第一病院 65%、他病院14%、自宅21%、退院先：在宅80.4%]、訪問診療30件/月と地域における当院の役割は十分達成できたと考えております。

院内インフラ整備として2021年4月から電子カルテを導入し、共通カルテ番号採用による情報の共有およびチーム医療の推進、業務の効率化、超過勤務の削減、医療安全の向上等に効果を認めております。

新型コロナウイルス感染症に対しては当院で可能な限りのPCR検査やワクチン接種を積極的に施行することで地域医療に貢献するよう努力しております。

これからも東和会グループの一員としての地域の皆さまに信頼され愛される病院を目指し頑張りたいと思います。



## 施設概要

### 所在地

〒569-0034 大阪府高槻市大塚町 5-20-3  
TEL 072-674-1008

### 開設者

医療法人 東和会

### 開設

1990年11月1日  
(1997年に第二東和会病院に名称変更)

### 診療科目

内科／外科／整形外科／脳神経外科  
耳鼻いんこう科／リハビリテーション科

### 病床数

93床

# 東和会いばらき病院



## いばらきの地でも「東和会らしさ」で走り抜く

東和会いばらき病院は、2022年1月より東和会グループに仲間入りをした茨木市の中心部に位置する病院です。障害者施設等入院基本料10対1を基準とした許可病床数43床の小規模な病院ではありますが、救急告示病院でもあるため24時間365日地域の患者さまの初期治療と救急処置等にも対応しています。また院長でもある末廣医師は整形外科専門医を有しており、骨折や靭帯・腱の断裂といった手術も積極的に実施しています。

元々当院は療養患者が中心であり平均在院日数は60日を超えていましたが、地域の救急ニーズへの対応を強化したいとの目標を掲げ、救急搬送件数の増加や平均在院日数の低下に取り組み、現在の救急搬送件数は平均19.0件、平均在院日数は4階病棟19.1日、その他病棟24.6日と推移しています。

今般リハビリテーション室の改修も実施し、運動器リハビリテーション2の施設基準を取得しました。これにより手術後のリハビリテーションを早期から介入することで、機能回復やADLの獲得、入院期間の短縮にも取り組んでいます。

今後は東和会グループや地域の各施設と連携して、質の高い医療を効率的に提供できるよう努めてまいります。



### 施設概要

#### 所在地

〒567-0888 大阪府茨木市駅前 3-6-23  
TEL 072-623-0234

#### 開設者

医療法人 東和会

#### 開設

2022年1月1日に現名称へ変更

#### 診療科目

外科 / 内科 / 整形外科  
リハビリテーション科 / 胃腸科  
肛門科 / リウマチ科 / 放射線科  
泌尿器科

#### 病床数

43床 (一般病床 43床)



## 東和会クリニックから笑顔の連鎖を

2011年、阪急高槻市駅前に美容皮膚科・美容外科「東和会クリニック」を新設しました。1998年に第一東和会病院内にて、フォトフェイシャル専門の美肌ケアセンターを開設したのが始まりです。お客さまの美容に対する関心は無限大で、来院者さまの増加に伴い移転を決めました。

東和会病院が身近にある安心感や、大阪医科薬科大学の皮膚科医師・兵庫医科大学の形成外科医師のサポートにより、幅広い美容医療の提供ができています。

おひとりおひとりのニーズに沿った治療を心がけ、スタッフ一丸となって皆さまのご希望を叶えるお手伝いをしています。東和会クリニックに来院された全ての方が笑顔になり、またその笑顔により周りの方も笑顔となり、世の中に笑顔が溢れていくことを理想としています。



### 施設概要

#### 所在地

〒569-0802 大阪府高槻市北園町 16-16  
イダイビル 3階  
TEL 0120-85-1008

#### 開設者

医療法人 東和会

#### 開設

2011年6月1日

#### 診療科目

美容皮膚科・美容外科

# 介護老人保健施設 サンガピア館



## 共に 笑顔で支えあう 日々を

介護老人保健施設サンガピア館は、高槻市内で超強化型を算定している数少ない老人保健施設です。第二東和会病院が同じ敷地内に併設されています。グループ間の強い連携により、医療機関による必要なサポートをすみやかに提供できることが大きな特徴です。

当館は入所、短期入所、通所のサービスを行っており、看護・医学的管理のもと在宅復帰・在宅支援を目標に多職種が連携してケアを提供しています。入所、短期入所は、認知症介護指導者養成研修修了者が在籍しており、ご利用者さまやそのご家族さま、地域住民向けの相談・情報提供、普及啓発活動など、認知症に関するケアが充実しているのが特徴です。通所サービスは日常生活をいっそう明るく楽しんでいただけるように様々な工夫を凝らした企画を実施しています。要介護者さま、要支援者さまに1～2時間、専門のセラピストがそれぞれの障害や状態に合わせた運動、生活指導等リハビリ中心のサービスも提供しているのが特徴です。



### 施設概要

#### 所在地

〒569-0034 大阪府高槻市大塚町 5-20-3  
TEL 072-673-6500

#### 開設者

医療法人 東和会

#### 開設

1997年11月1日

#### 入所定員

100名

#### ショートステイ定員

空床利用

#### デイケア定員

65名

# 総合介護福祉施設 和朗園・佑和



## 「和やかで、朗らかな暮らしを、これからも」

高槻市の東部に位置する五領地域に、平成14年11月「総合介護福祉施設和朗園・ケアハウス佑和」として開設致しました。入所・通所・訪問などの各介護サービス事業所では、加齢に伴う心身の不安があってもご利用者さま、ご家族さま、それぞれの生活が安心して送ることができるような支援を目指し、地域においては、地域包括支援センターを中心に、多様な福祉ニーズに対応しその人らしい生活を継続できるように努める個別支援と、ご高齢者を取り巻くあらゆる関係機関と連携し、地域包括ケアシステムの構築を推進しています。

さらに、クリニックでの健康管理や、放課後児童健全育成事業で子育て世帯への支援など総合介護福祉施設として様々な職種の職員が協働して、和朗園に関わるご利用者さま・ご家族さま・地域の皆さま、職員もいきいきと安心して暮らせる生活の実現を目指しています。



### 施設概要

#### 所在地

〒569-0015  
大阪府高槻市井尻 2-37-8  
TEL 072-660-3600

#### 開設者

社会福祉法人 恭生会

#### 開設

2002年11月1日

#### 設備等

医務室／機能訓練室／浴室／特別浴室  
相談室／静養室／談話コーナー／洗濯室  
食堂／集会室 ほか

#### 入所施設

特別養護老人ホーム 100名  
ショートステイ 10名  
グループホーム 18名  
デイサービスセンター 70名  
(内総合支援事業 5名)  
放課後児童健全育成事業 40名  
ケアハウス 佑和 30名

#### その他事業所

ケアプランセンター、ヘルパーステーション  
恭生クリニック、五領・上牧地域包括支援センター

# 在宅複合型老人介護施設 天兆園



「いつも ココロに 天兆園」 明るく 楽しく 心もすこやかに  
— どんな時も地域の皆様が頼れる存在でありたい —

このたび、医療法人東和会が創立40周年を迎え、飯田会長並びに大西理事長の思いや、社会福祉事業の推進に、地域の皆さまと共に歩んでこられた事に心より感謝申し上げます。

天兆園は2000年3月に茨木市安威で事業を開始し、創立から20年が過ぎました。デイサービス・ショートステイ・ヘルパーステーションと言った直接介護だけでなく、ケアプランセンターや、市より委託を受けて包括支援センター・コミュニティーソーシャルワーカーの事業所が複合している施設になります。「天兆園に相談したらなんとかなる」「天兆園があるから、自宅（地域）で生活が続ける事が出来た」と言われることが私達の何よりの喜びと原動力になっております。

これからも、高齢の方だけでなく、地域に住まわれている全ての方の福祉の向上に向けた取り組みに邁進し、在宅生活の一助となれるよう、職員一同努めてまいります。



## 施設概要

### 所在地

〒567-0001  
大阪府茨木市安威 2-10-11  
TEL 072-640-3965

### 開設者

社会福祉法人 恭生会

### 開設

2000年4月1日

### 設備等

デイルーム／医務室／機能訓練室／浴室  
特別浴室／相談室／静養室／談話コーナー  
食堂／集会室 ほか

### 定員

ショートステイ 20名  
デイサービスセンター 65名

# 介護付有料老人ホーム みやの楽々園



## 楽しみの「住まい」をご提案

みやの楽々園は東和会グループの運営する有料老人ホームとして、2006年3月1日に開園しました。クリニックの併設、往診・訪問診療を充実させ、医療とのつながりを強く持つホームです。

2017年3月より同一敷地内に企業主導型保育事業として、みらい保育園の運営を開始しました。園児とご高齢者の皆さまが年の差90歳となる世代間の交流を大切に、取り組みをすすめています。

みやの楽々園では、地域の中の「住まい」として選んでいただけるよう、介護やサポートが必要となった方のニーズを読み取り、そのニーズにしっかりと対応できる知識と技術を身に付け、入居者さまをお待ちしています。

今後、ますます高まる医療・介護のニーズに柔軟に対応し、これまで以上の満足を皆さまに味わっていただくことはもちろん、地域で医療・介護・教育・保育に取り組む皆さまの架け橋となるよう、関係スタッフ一同取り組んでまいります。



### 施設概要

#### 所在地

〒569-0081 大阪府高槻市宮野町 7-1  
TEL 072-671-2290

#### 開設者

株式会社 光真

#### 開設

2006年3月1日

#### 設備等

冷暖房完備／車いす対応水洗トイレ  
洗面／緊急通報システム／特殊浴室  
エレベーター／食堂／談話室／サロン

#### 定員

100名

# 住宅型有料老人ホーム レジデンスTOWA



## 自分らしい暮らしをサポート

このたび、医療法人東和会 第一東和会病院が創立40周年を迎え、地域の皆さまに改めて感謝を申し上げます。

レジデンスTOWAは2021年12月に島本町に開設した施設です。事業内容は住宅型有料老人ホームになります。施設内にはデイサービスセンター、ヘルパーステーション、訪問看護ステーションを併設しており、自立された方から要介護5までの方が入居されています。24時間365日の体制で介護職員が常駐し、また看護師もオンコール体制により、身体面、生活面のサポートはもちろん、協力医療機関である第一東和会病院やよりふじ胃腸内科・内科クリニックへの送迎や付き添いのサポートもさせていただきます。

ご入居者さま及びご家族さまには安心して毎日をお送りいただき、施設生活の中で生きがいを持っていただけるよう取り組みます。

「愛」と「和」の精神でこの島本町の地で愛される施設となるように職員一丸となって努力してまいります。



### 施設概要

#### 所在地

〒618-0022  
大阪府三島郡島本町桜井2丁目6-17  
TEL 075-963-1008

#### 開設者

株式会社 TOWA

#### 開設

2021年12月1日

#### 定員

68名

## 訪問看護 (東和会・アイ・島本)

ご利用者さまを取り巻く環境をよく知り、  
オーダーメイドな看護の提供を目指して。

1990年代にゴールドプランや新ゴールドプランといった施策がはじまり高齢者福祉、特に医療が必要な方でも住み慣れたご自宅で暮らすことができるよう1998年2月高槻市大塚町に訪問看護ステーション東和会、2000年7月に茨木市安威に訪問看護ステーションアイを設立致しました。また2021年12月には島本町桜井に訪問看護ステーション島本(レジデンスTOWA内)を立ち上げることができました。

設立以来病院や地域のクリニック、診療所の先生方、保健所、地域包括支援センター、居宅支援事業所等地域の福祉に関わる他職種の方々より多大なご支援とご理解を頂戴できたことに深く感謝致しております。

訪問看護のご利用者さまは小児からご高齢者まで幅広く疾患も様々ですが、これからも邁進してまいる所存ですので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



## 訪問リハビリ

### 《一期一会》

ご利用者さま一人ひとりとの出会いを大切に、  
住み慣れた地域・ご自宅での大切な人生に  
寄り添ったサービスを提供する。

訪問リハビリテーション部門では、在宅でのリハビリテーションニーズにお応えできるよう2016年8月1日に訪問リハビリテーション事業所を介護老人保健施設サンガピア館内に立ち上げました。

当事業所では、リハビリテーションに特化したサービスを展開し、要介護者さまの自立支援や要支援者さまの重症化予防に向けた取り組みを行っております。

2019年5月1日より事業所を第二東和会病院に移転し、医師による定期的な診療を実施し、安全にリハビリテーションが提供できる体制を整えております。

今後も診療所の先生方や他事業所の方々と連携を取りながら、より良いサービスを提供していけるよう努めてまいりますのでご支援の程よろしくお願いいたします。

# ケアプランセンター・訪問介護東和会ハート



## ケアプランセンター

### 《寄りそう》

ご利用者さま・ご家族さまの話を傾聴し  
適切なサービスをご提案。



東和会グループのケアプランセンターは、介護保険制度が始まった時と同じ平成12年から事業を開始してきました。超高齢社会、少子化、介護者さまの高齢化などご家族さまだけで介護することが困難になってきている状況を社会全体で支え、ご高齢者の自立を助けることを目的としています。

現在、高槻市に3事業所(ダイチ・ともいき・和朗園)、茨木市に1事業所(天兆園内アイ)、島本町に1事業所(しまもと)があり26名の介護支援専門員(ケアマネジャー)が支援しています。

医療機関だけではなく他職種との連携にも力を入れておりご高齢者だけではなく医療度の高いご利用者さまも安心して在宅で過ごしていただけるようにサービス調整を行っています。

今後も地域の皆さまに信頼される事業所を目指します。

## 訪問介護東和会ハート

### 「真心」と「安心」

ヘルパーステーション東和会ハートは「身体介護」「生活援助」「通院時の乗車・降車介助」等のサービスを提供しており、可能な限り居宅において、その有する能力に応じ、自立した生活ができるよう配慮しながら生活全般にわたる援助を行っております。

同じ建物内にケアプランセンター、訪問看護ステーション事業所があり、強い連携により様々なニーズに沿ったサービスを提供できるのが大きな特徴です。

東和会ハートはご利用者さまの意思及び人格を尊重し、ご利用者さまやご家族さまの立場に立ち寄り添ったサービスをコンセプトに「ヘルパーのお陰で安心して過ごすことが出来ている」「離れていてもお任せできる」等思っていただけのような、安心できる在宅生活を送れるようにサービスを提供しております。



# 愛光認定こども園・和光認定こども園



## 愛光認定こども園

### 「子どもも大人も主体的」に 「生き抜く力」を育てる場所

本園は2006年4月に開園致しました。お陰様で開園以来、地域の方々、保護者の皆さまに支えられ、多世代に渡りたくさんの交流を深めさせていただくことができました。誠に感謝致します。

近年コロナ禍が続き、これまでの価値観が変わり、「スタンダード」というものが存在しない混沌とした時代を迎えております。

本園では、これからの時代を担う子どもたちが、どのような時代を迎えたとしても、自己肯定感を確立し、自ら考え、選択できる「生き抜く力」を持った人物になることを目指し日々、保育・教育に努めております。そのためにも、様々なことを経験し、一人ひとりの自由な「発想」、「表現」を尊重した応答的なカリキュラムを進めております。

地域の方々、保護者の皆さまにおかれましては職員一同保育・教育に努めてまいりますので今後とも、愛光認定こども園をよろしくお願い致します。

## 和光認定こども園

### 「遊びと学び」 「子どもたちの元気と意欲を育てる」

東和会病院創立40周年を迎えグループの理念でもある「愛」と「和」の精神の元、認定こども園が創立されました。

地域の子ども達をこの地域で子育てをする、働く保護者の皆さまの支援をはじめ、医療を必要とするこどもの医療的ケア保育や障がいがある子と共に学ぶインクルーシブ保育を進め、皆が一緒に成長をし共に生き抜く力を身に付けていきます。教育の柱でもある、こども主体の教育、それは常に自分で考え自分で行動する力を育てていきます。自考行動力これこそが、教育の根幹であります。

根強い教育方針の元、和光認定こども園はこの地域の子ども達を伸び伸びと育てる場でありたいと考え、これからの10年・20年・30年と東和会病院と共に歩んで参ります。



終わりに



Sincerely

早春の候、皆さま方におかれましてはますますご隆盛のこととお慶び申し上げます。  
さてこの度、医療法人東和会は、2022年度をもちまして、創立40周年を迎えました。  
これもひとえに地域の皆さまからの信頼、厚いご支援と温かい激励の賜物でございます。改めて、ここに心よりの感謝を申し上げます。

30周年記念誌発行後の10年間に様々な変化がありました。2019年には、創設者飯田稔に変わりその長女にあたる脳神経外科医の大西恭子が理事長に就任しました。女性活躍が推進される中で、女性理事長の誕生は時代に合った変化でありました。その直後、新型コロナウイルス感染症との闘いが始まりました。救急病院としての誇りと高槻市民を守るという強い使命感をもち陣頭指揮を執られました。職員はその想いに必死に応え、さらに団結力を強めることができました。その結果、高槻市に東和会病院有りと強く発信することに繋がりました。いま一度、法人理念である「愛」と「和」の精神と「地域の皆さまに信頼され愛される病院」という基本精神に立ちかえり、職員を大切に、患者さまに寄り添い、質の高い医療・サービスの提供に尽力してまいります。

40周年記念誌発刊にあたっては、御多忙中にも関わらず多くの皆さまより御寄稿を賜りましたこと、この場を借りて厚く御礼申し上げます。一つの通過点である40周年をこうして迎えることが出来たのも、ひとえに皆さま方のご支援とご厚情の賜物と心より深謝いたしております。

次の10年を見据え、地域のニーズ、社会のニーズを敏感・迅速に汲み取り、変わらなくてはいけないところは進化を目指し、変えてはいけないところはしっかりと守り抜いていく。職員一同気持ちを新たに、皆さま方のご厚情に応えるべく、邁進していく所存でございます。

今後とも倍旧のお引き立てを賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2023年4月吉日

編集委員長 飯田 知子

編集委員	井谷 尚利	岩永 英美	上田 拓
	尾島 トモ子	川合 陽平	武田 依里子
	土井 佐知子	永治 幸子	野中 優
	馬場 真行	福本 孝明	古川 泰広

医療法人 東和会  
第一東和会病院開院 40 周年記念誌

---

---

発行日 令和 5 年 4 月 初版 第 1 刷  
編 集 第一東和会病院開院 40 周年記念誌編集委員会  
発 行 医療法人東和会 第一東和会病院  
理事長 大西 恭子  
〒569-0081 高槻市宮野町 2 番 17 号  
TEL 072-671-1008  
URL : <https://first.towakai-med.or.jp/>  
制 作 株式会社 ネットプランニング

---

---

